

ほぼ全自動 耳コピ支太郎

取り扱い説明書

シリアルナンバー

DE-304

※シリアルナンバーを再発行することはできません。
シリアルナンバーはアップデートファイルをダウンロードする際や
ユーザー登録をする際に必要となります。

ユーザー登録はこちら
<http://www.de-net.com/user/>

製品ご利用前に必ずお読みください。
この取り扱い説明書は大切に保管してください。

目次

動作環境 ・ その他	02
インストール ・ アンインストール方法	03～07
起動方法	08～09
音声ファイルを解析してグラフ表示する	10～12
音声ファイルを再生する	
オートスクロール表示	13
再生位置を移動	14～15
スロー再生、早送り再生	15
リピート再生	16～18
テンポを解析する	19
コードを検出 ・ 編集する	20～23
採譜する	
自動採譜する	24～26
ノートを配置、編集する	27～33
ファイル出力する	
コードをMIDIファイルに出力する	34
コードをテキストファイルに出力する	35
ノートをMIDIファイルに出力する	36
音源ファイルに再生速度、音程、イコライザ、フィルタを適用してWaveファイルに出力する	37
データを保存する	38
保存した解析データを開く	39～40
その他の機能 ・ 操作説明	
ラベルを設定する	41～45
テンポチェンジする	46～48
リズム ・ キーチェンジする	49～51
基本周波数を解析 ・ 表示する	52
イコライザの設定 ・ 登録をする	53
パソコンで再生している音声を録音する	54～59
マイク機能で音声を録音する	60～62
音楽変換ツールでWaveファイルに変換する	63～65
リップングツールでCDの音楽をパソコンに保存する	66
ソフトウェアをダウンロードする	67～69
お問い合わせ窓口	70～裏表紙



本ソフトにはPDFマニュアルが同梱されています。

PDFマニュアルには、画面の説明やよくあるお問い合わせ (Q&A) が掲載されています。

動作環境・その他

動作環境

対応 PC OS	メーカーサポートを受けられる Windows パソコン ※Mac には対応していません。 Windows 8 / 7 / Vista / XP ※Mac OS には対応していません。 ※日本語版 OS の 32 ビット版専用ソフトです。 Windows 8、7 64 ビットでは、WOW64(32 ビット互換モード) で動作します。 Windows 8 では、デスクトップモードのみ対応です。 Windows 8 は RTM 版(32bit / 64bit 版)で検証しました。 OS が正常に動作している環境でお使いください。 対応 OS の動作環境を満たした環境でのご利用が前提となります。 最新のサービスパック及びアップデートがされている環境でお使いください。 Server OS には対応していません。管理者権限を持ったユーザーでお使いください。 マイクロソフトのサポート期間が終了している OS での動作は保証いたしません。
CPU	PentiumIII 以上 (Windows 8、7、Vista の場合は 1GHz 以上)
メモリ	512MB 必須 (Windows 8、7、Vista の場合は 1GB 必須)
ディスプレイ	1280×1024 以上の解像度で色深度 32bit True color 以上表示可能なもの
CD-ROM	倍速以上
ハードディスク	1GB 以上の空き容量 (インストール時) ※これ以外にデータ保存の為に空き容量が必要となります。
対応ファイル形式	<ほぼ全自動 耳コピ支太郎> 読込: WAV 出力: MIDI / WAV <音楽変換ツール> 読込: MP3 / M4A / AAC / MPEG1 / MOV / MP4 / FLV 出力: WAV <リッピングツール> 読込形式: 読込可能なコピープロテクションが施されていない CD 保存形式: WAV
その他	インターネット接続必須 ※PDF マニュアルの閲覧ソフトのインストール、本ソフトに関する最新情報の確認やアップデートを行う際にインターネット環境が必要となります。

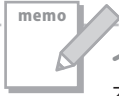
その他

- ※他のソフトとの互換性はありません。
- ※本ソフトではデータが大きすぎる音楽 (動画) ファイルや一度にたくさんの音楽 (動画) ファイルを使用しますとパソコン環境によっては、パソコンの動作に遅延等が見られる場合もありますのでご注意ください。
- ※本ソフトにはネットワーク上でデータを共有する機能はありません。また、ネットワークを経由してソフトを使用することはできません。
- ※作成した音楽ファイルを再生するには、対応ファイル形式の再生に必要なコーデック、フィルター、機器等の別途再生環境が必要です。お使いのパソコン上で正常に再生できるファイルのみの対応となります。全てのファイルの入力、出力を保証するものではありません。
- ※長時間の録音を行うと変換に時間がかかる場合があります。
- ※パソコンの環境により、音の録音品質は異なります。パソコン上の音そのまま録音されるので、動作音なども一緒に録音される場合があります。
- ※録音するにはパソコン内で再生されている音声を録音できる機能が必要になります。
- ※リッピングツールのCDドライブを開く、閉じるはパソコンの環境によって使用できない場合があります。
- ※リッピングツールで読み込むことが可能なCDは、コピープロテクションが施されていないもののみ対応しています。
- ※弊社ではソフトの動作関係のみのサポートとさせていただきます。予めご了承ください。また、製品の仕様やパッケージ、ユーザーサポートなどすべてのサービス等は予告無く変更、または終了することがあります。予めご了承ください。
- ※各種ソフトウェア、またパソコン本体を含む各種ハードウェアについてのお問い合わせやサポートにつきましては、各メーカーに直接お問い合わせください。
- ※ユーザーサポートの通送料・通話料はお客様の負担となります。(サポート料は無料です)
本ソフトの動作以外のご質問や各種専門知識などのお問い合わせには、お答えできない場合があります。その他ご不明な点などはユーザーサポートまでお問い合わせください。また、お問い合わせ内容によっては返答までにお時間をいただくこともあります。予めご了承ください。
- ※著作権法を厳守してご利用ください。著作権により保護されている音楽・音声データ等を本製品で使用したことにより生じたトラブルに関しましては一切責任を負いかねます。
- ※本ソフトを著作者の許可無く賃貸業等の営利目的で使用することを禁止します。改造、リバースエンジニアリングすることを禁止します。
- ※本ソフトのソフトウェアの再配布・貸与・レンタル・中古品としての取引は禁止します。
- ※本ソフトを複数のパソコン上で使用するには台数分のソフトを必要とします。
- ※本ソフトを運用された結果の影響につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。また、本ソフトに瑕疵が認められる場合以外の返品はお受け致しかねますので予めご了承ください。
- ※著作者の許諾無しに、画像・イラスト・文章等の内容全て、もしくは一部を無断で改変・頒布・送信・転用・転載等は法律で禁止されております。
- ※Microsoft、Windows、Windows XP、Windows Vista、Windows 7、Windows 8は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- ※PentiumはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- ※Mac OSはApple Inc.の商標です。
- ※その他記載されている会社名・団体名及び商品名などは、商標または登録商標です。

インストール・アンインストール方法

インストール方法

お使いのコンピューターに『ほぼ全自動 耳コピ支太郎』をインストールします。



インストールする前に・・・

本ソフトをインストールする前に、次の項目をご確認ください。

○ハードディスクの空き容量

ハードディスクの空き容量が1GB以上必要（左記以外にシステムドライブ上にデータ保存の為の空き容量が必要）です。

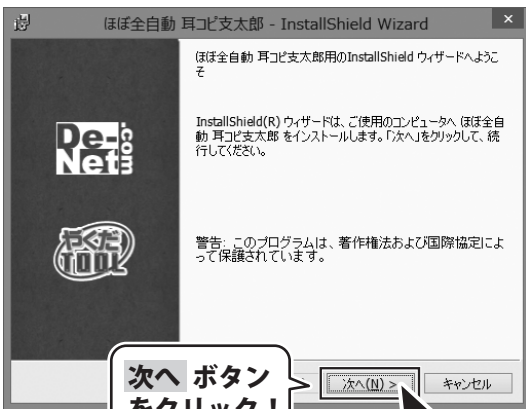
○管理者権限について

インストールするパソコンの管理者権限を持っているユーザーがインストールを行ってください。

○アプリケーションソフトの停止

インストールする前にウイルス対策ソフトなどの常駐ソフトや他のアプリケーションを停止してください。

※WindowsOSやお使いのパソコンそのものが不安定な場合も、正常にインストールが行われない場合があります。



手順1

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」の セットアップがはじまります

CD-ROMが認識されましたら、自動でセットアップが始まります。

左のような画面が表示されますので、
内容を確認して **次へ** ボタンをクリックします。



インストールが自動で始まらない場合

次の手順でインストールを始めてください。

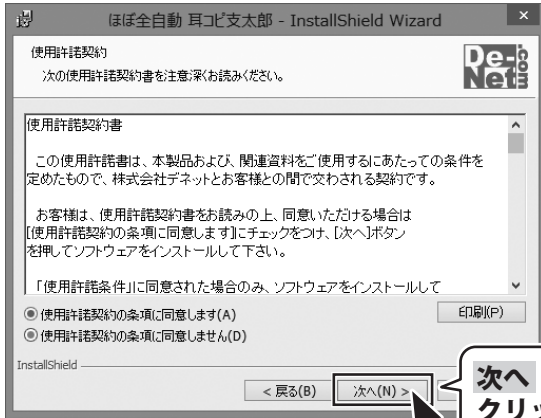
- ① [コンピューター(※)]をダブルクリックします。
- ② CDまたはDVDドライブをダブルクリックします。
- ③ [setup]をダブルクリックします。

※Windows 7、8の場合は「コンピューター」
Windows Vistaの場合は「コンピュータ」
Windows XPの場合は「マイコンピュータ」



setup
Setup Launcher
株式会社デネット
**[setup]をダブル
クリックします。**

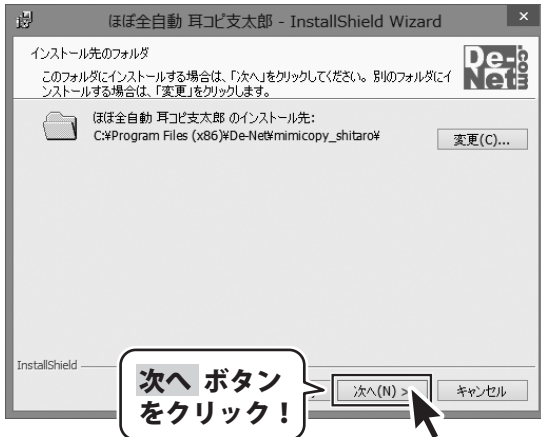
インストール・アンインストール方法



手順2 使用許諾契約の内容を確認します

使用許諾契約書の内容を確認し、**使用許諾契約の条項に同意します**をクリックして選択した後、**次へ** ボタンをクリックしてください。

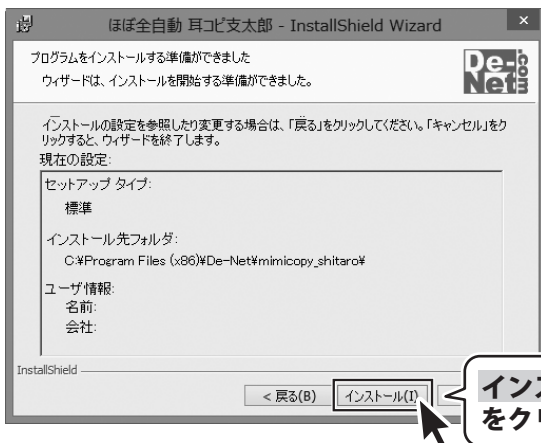
次へ ボタンをクリック！



手順3 インストール先を確認します

インストール先を変更することができます。変更しない場合は **次へ** ボタンをクリックしてください。インストール先を変更する場合は **変更** ボタンをクリックして、インストール先を選択してから、**次へ** ボタンをクリックしてください。通常はインストール先を変更しなくても問題はありません。

次へ ボタンをクリック！



手順4 インストールの設定内容を確認します

インストール先等の情報が表示されます。確認を行い、インストールを行う場合は **インストール** ボタンをクリックしてください。

インストール ボタンをクリック！

インストール・アンインストール方法



手順5 インストール完了です

インストールが正常に終了すると左のような画面が表示されます。
内容を確認して、完了 ボタンをクリックしてください。

完了 ボタン
をクリック!

インストール・アンインストール方法

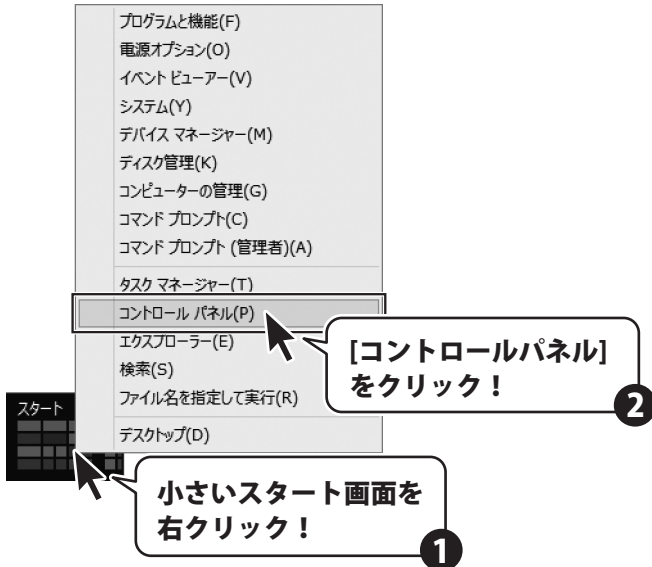
アンインストール方法

お使いのパソコンから『ほぼ全自動 耳コピ支太郎』をアンインストール（削除）します。


本ソフトを完全に終了して、
タスクバーの左下あたりにマウスカursorを合わせます。




小さいスタート画面が表示されますので、右クリックをして、表示されるメニューから



「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」で
一覧表示されるプログラムの中から「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を選択して「アンインストール」を
クリックすると、確認メッセージが表示されますので、はい ボタンをクリックするとアンインストールが
実行されます。

※Windows OSが7の場合、 ボタン→「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストール」を選択してアンインストールを行ってください。

※Windows OSがVistaの場合、 ボタン→「コントロールパネル」→
「プログラムのアンインストールと変更」を選択してアンインストールを行ってください。

※Windows OSがXPの場合、「スタート」→「コントロールパネル」→「プログラムの追加と削除」を
選択してアンインストールを行ってください。

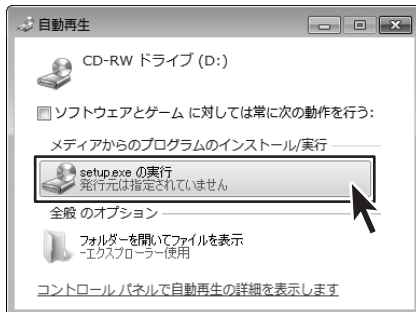
インストール・アンインストール方法

memo

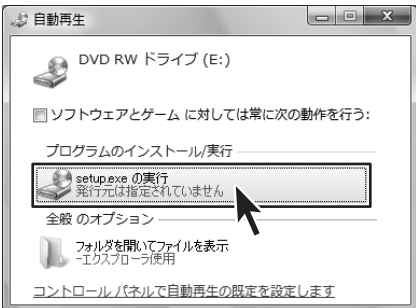
インストール中、またはアンインストール中に下のような画面が表示された場合次の手順で作業を続けてください。



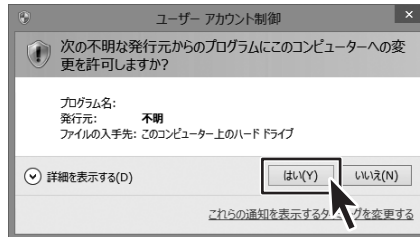
Windows 8で[自動再生]画面が表示された場合 [setup.exeの実行]をクリックしてください。



Windows 7で[自動再生]画面が表示された場合 [setup.exeの実行]をクリックしてください。

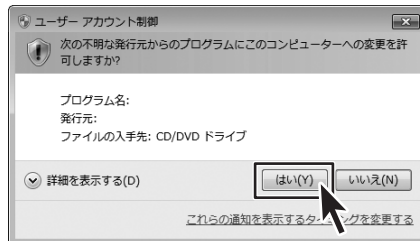


Windows Vistaで[自動再生]画面が表示された場合 [setup.exeの実行]をクリックしてください。



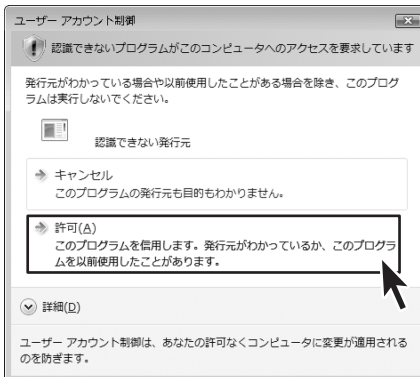
Windows 8で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合

はい ボタンをクリックしてください。



Windows 7で[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合

はい ボタンをクリックしてください。



Windows Vistaで[ユーザーアカウント制御]画面が表示された場合

[許可]をクリックしてください。

起動方法

ソフトウェア最新版について

ソフトウェア最新版を弊社ホームページよりダウンロードを行い、お客様がお使いのソフトウェアを最新のソフトウェアへ更新します。

ソフトウェア最新版をご利用いただくことで、より快適に弊社ソフトウェアをご利用いただくことが可能となります。下記、デネットホームページよりソフトウェアの最新情報をご確認ください。

<http://www.de-net.com>

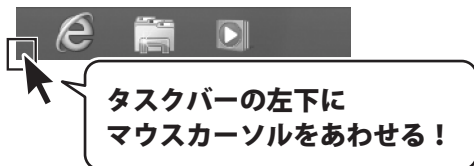


取扱説明書 (PDF) について

本ソフトにはPDFマニュアルが同梱されています。
Windows 8 以外のOSの場合、PDFマニュアルをご覧いただくには、Adobe Readerが必要です。
正常に閲覧できない場合は、アドビシステムズ社より無償配布されているAdobe Readerをダウンロードしてください。
詳しくはアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

スタート画面 (Windows 8) からの起動

タスクバーの左下あたりにマウスカーソルをあわせませす。



小さいスタート画面が表示されますので、クリックをします。




スタート画面が表示されますので、スタート画面上で右クリックして、「De-Net」→「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」をクリックしますと、本ソフトが起動します。




起動方法

スタートメニュー (Windows 7、Vista、XP) からの起動



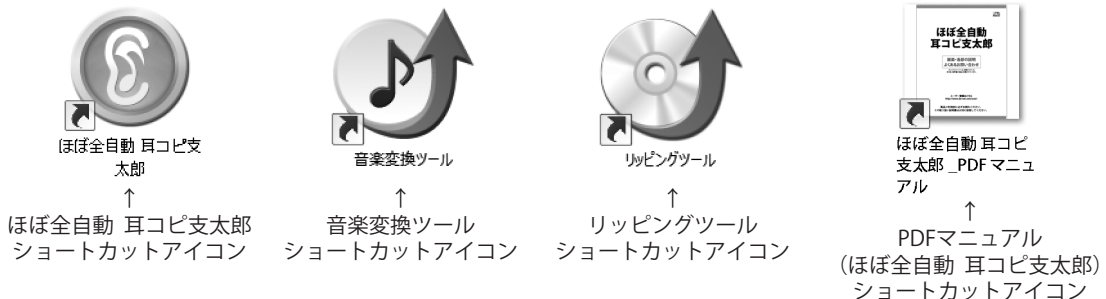
※Windows OS が 7 の場合、 ボタンをクリックして「すべてのプログラム」→「De-Net」→「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」とたどって「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

※Windows OS が Vista の場合、 ボタンをクリックして「すべてのプログラム」→「De-Net」→「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」とたどって「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

※Windows OS が XP の場合、[スタート] ボタンをクリックして「すべてのプログラム」→「De-Net」→「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」とたどって「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」をクリックしますと、本ソフトが起動します。

デスクトップショートカットからの起動

正常にインストールが完了しますと、デスクトップに下の様なショートカットアイコンができます。ダブルクリックをすると、ソフトが起動します。



音声ファイルを解析してグラフ表示する

1

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を起動します

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を起動します。
(起動方法は、8～9ページをご参照ください。)

右図のようなメイン画面が表示されます。



2

音声ファイル(Wave形式)を開きます

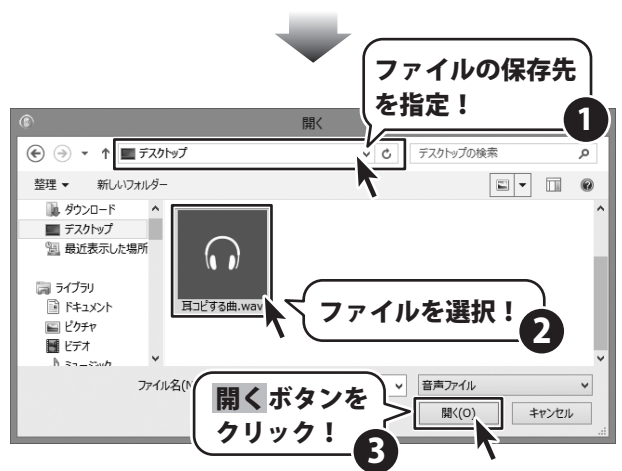
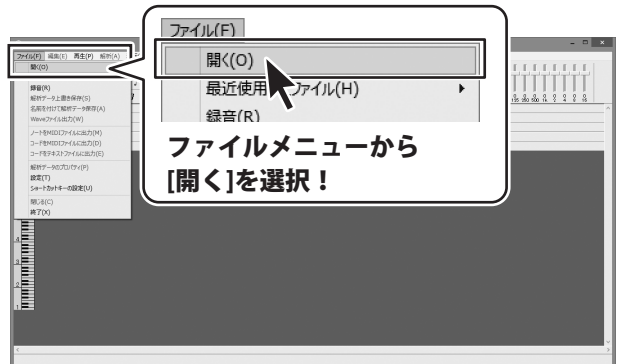
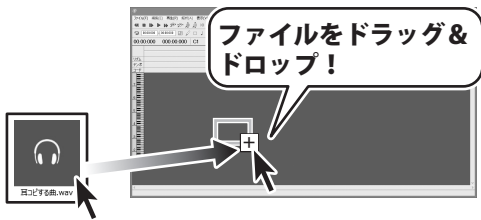
本ソフトで解析できるファイルは、Wave形式の音声ファイルです。(拡張子.wav)

MP3、M4A、AAC形式の音楽ファイル、FLV、MPEG1、MOV、MP4の動画ファイルの音楽(音声)は、付属ソフトの「音楽変換ツール」でWaveファイルに変換できます。(詳細は、63～65ページ)

Waveファイルをご用意できましたら、「ファイル」メニューから「開く」を選択します。

開く画面が表示されますので、ファイルの保存先を指定し、ファイルを選択したら、開く ボタンをクリックします。

また、Waveファイルをメイン画面にドラッグ&ドロップして、ファイルを開くこともできます。



音声ファイルを解析してグラフ表示する

3

音声ファイルを解析してグラフ表示します

Waveファイルが認識されると、[解析]画面が表示されます。

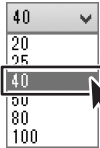
各項目を設定します。



各項目を設定!

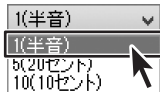
① 1秒あたりのブロック数

1秒あたりのブロック数を設定します。
数値が大きいほど、細かい時間単位で解析します。



▼をクリックして
ブロック数を選択!

② 半音あたりのブロック数

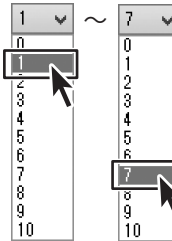


▼をクリックして
ブロック数を選択!

1(半音) ----- 半音(100セント)単位で音階を解析
5(20セント)--- 20セント単位で音階を解析
10(10セント)-- 10セント単位で音階を解析
※セント
音程を示す単位で、1オクターブが1200セントと定義されています。
「平均律」の場合、半音は12分の1の100セント、全音は200セントになります。

③ 音階の範囲(オクターブ)

1~10の間で、音階の範囲を選択します。



音階の範囲を
数値設定!

④ 基準周波数

基準周波数を設定します。
通常は、変更する必要はありません。

440.00 Hz

数値を設定!

⑤ 基本周波数を解析

チェックを入れると、基本周波数を解析し、グラフ表示します。

基本周波数を解析

⑥ 解析するチャンネル

解析するチャンネルを選択します。

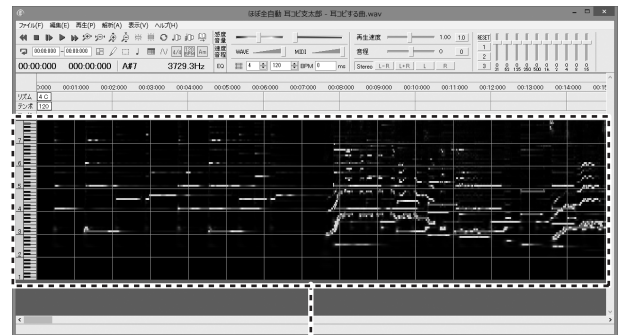
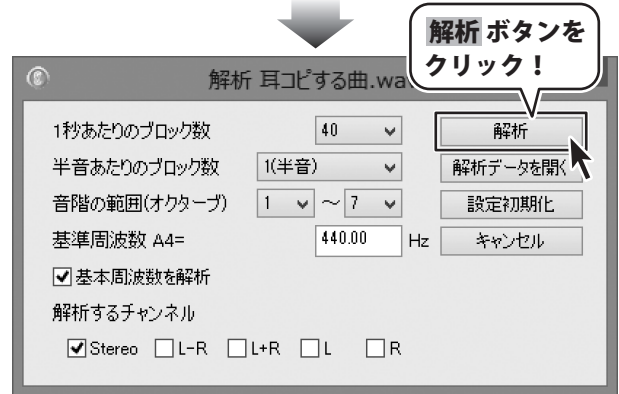
Stereo L-R L+R L R

解析するチャンネル
にチェックを入れる!

音声ファイルを解析してグラフ表示する

各項目の設定が終わりましたら、**解析** ボタンをクリックします。

ファイルが解析され、メイン画面に解析データがグラフ表示されます。

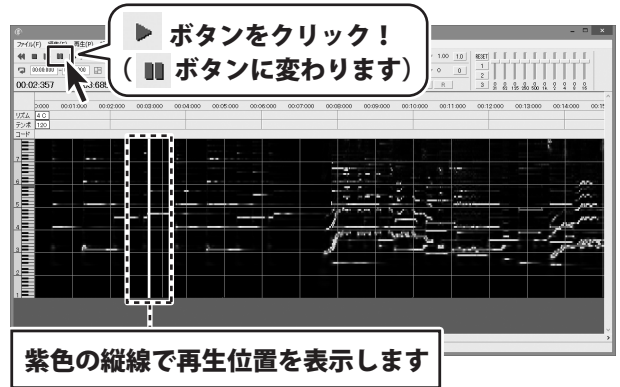


解析データがグラフ表示されます

音声ファイルを再生する

解析した Wave ファイルを再生します。再生位置は、解析グラフ上で紫色の縦線で表示されます。

▶ ボタンをクリックすると、音声ファイルが再生し、再生している位置を紫色の縦線で表示します。



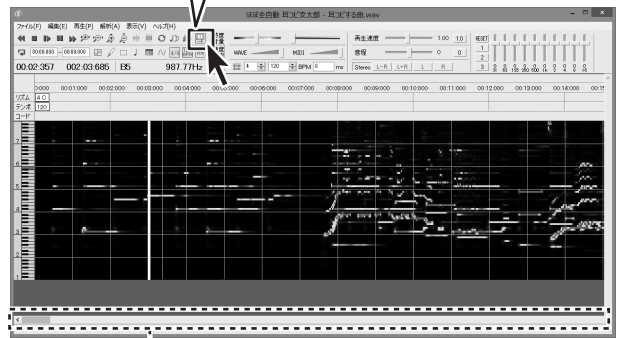
便利な再生機能

- オートスクロール表示 13ページ
- 再生位置を移動
 - ①時間・小節表示をダブルクリック 14ページ
 - ②キーボード操作 14ページ
 - ③ラベルの位置へ移動 15ページ
- 音程はそのままですロー再生、早送り再生 15ページ
- リピート再生 16~18ページ

オートスクロール表示

📖 ボタン(オートスクロール)をクリックして有効にしておくと、音楽(音声)を再生している時に、画面を自動的にスクロールして再生位置を表示します。

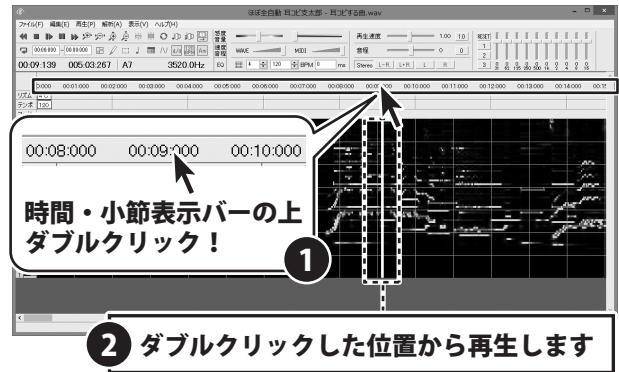
📖 ボタンをクリックして
オートスクロールを有効にする！ → 📖



音声ファイルを再生する

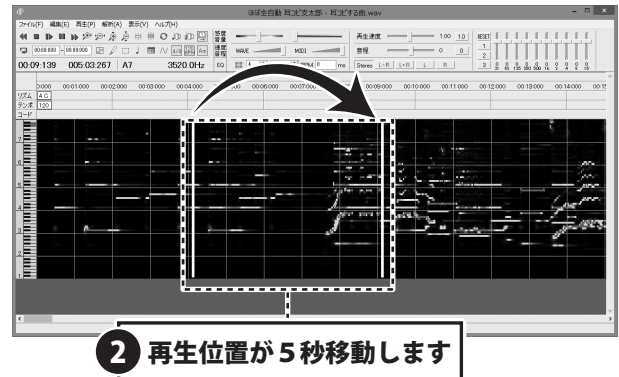
再生位置を移動 ①時間・小節表示をダブルクリック

時間・小節表示の上をダブルクリックして、再生位置を移動することができます。



再生位置を移動 ②キーボード操作

キーボードの [Ctrl] キーを押しながら、[←][→] キー(左右の矢印)を押すと、5秒単位で再生位置を移動します。



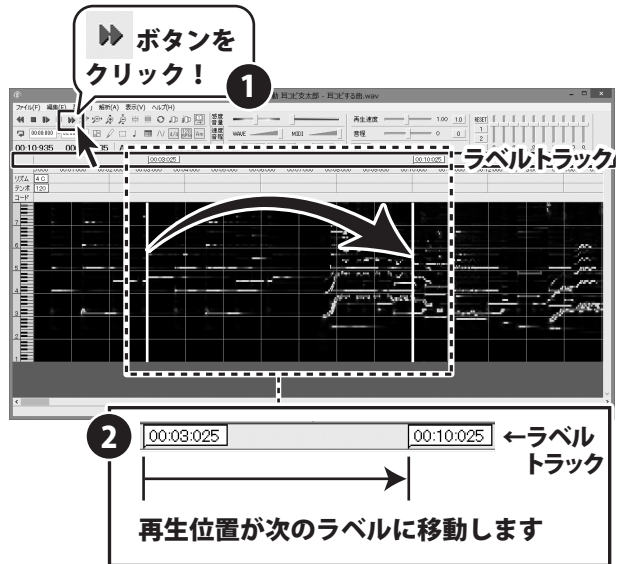
音声ファイルを再生する

再生位置を移動 ③ラベルの位置へ移動

◀ ▶ ボタンをクリックして、前後のラベルへ、再生位置を移動します。

ラベルを設定していない時に、◀ ▶ ボタンをクリックすると、5秒移動します。

ラベルの設定については、41～45ページをご参照ください。

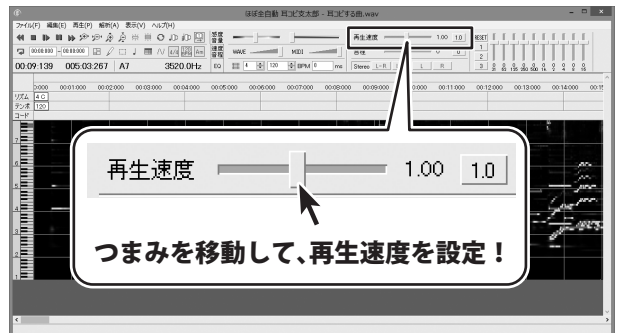


音程はそのままですロー再生、早送り再生する

再生速度のつまみを移動すると、1/10倍速までのスロー再生、2倍速までの早送り再生ができます。

※スロー再生の場合は、ファイルによって音が聞きづらくなる場合があります。

再生速度を変更した音声は、リアルタイムで聴くことができ、Waveファイルに出力できます。



音声ファイルを再生する

リピート再生

曲全体をリピート再生、また指定した区間をリピート再生します。

1 リピートボタンをクリックします

ボタンをクリックすると、ボタンの色が緑色になります。

ボタンが緑色の時は、リピート再生が有効になります。
ボタンをクリックすると、色が交互に変わりますので、リピート再生の有効・無効を設定してください。

リピート区間を指定していない場合は、曲全体をリピート再生します。

ボタンをクリックして
ボタンを有効にする！→



2 リピートする区間を設定します

時間・小節表示の箇所では、リピートする区間を設定することができます。

リピート区間は、時間・小節表示の箇所が濃いグレーの色になります。
リピート開始位置を赤い線、終了位置を緑の線で表示します。

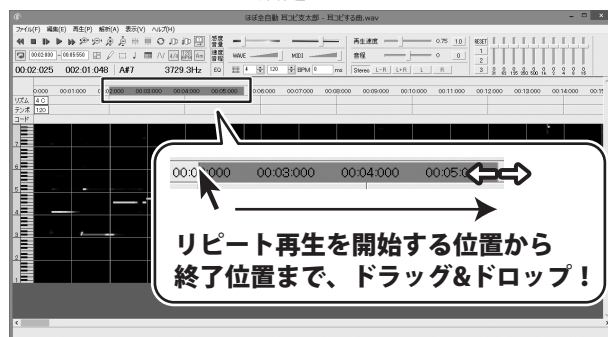
ドラッグ&ドロップで設定する場合

時間・小節表示の箇所では、リピート再生を開始する位置にカーソルを合わせて、クリックしたまま終了位置までマウスを移動します。

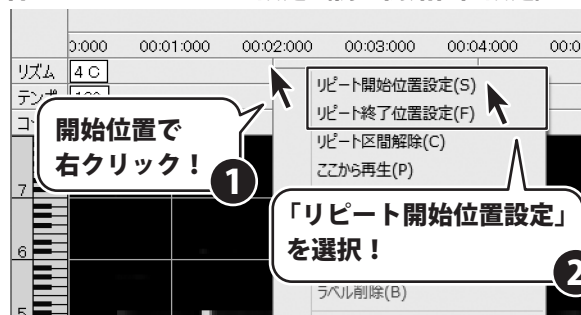
右クリックメニューで設定する場合

時間・小節表示、リズムトラック、テンポトラックの部分で右クリックすると表示されるメニューから、「リピート開始位置設定」を選択すると、開始位置を設定できます。
同様に、「リピート終了位置設定」で終了位置を設定できます。

ドラッグ&ドロップで設定



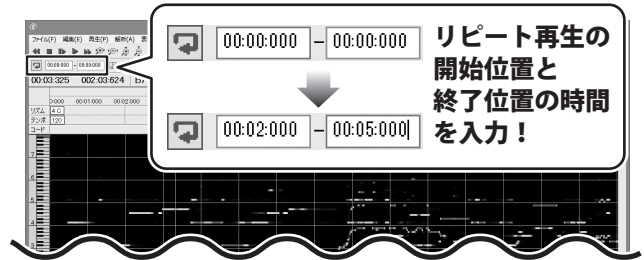
右クリックメニューで設定 (例：開始位置設定)



音声ファイルを再生する

数値入力の場合

リピートボタンのとなりにある入力欄に、数値を入力して、リピート再生開始位置、終了位置を設定することができます。



3

リピートする区間を移動します

リピート区間を前後に移動することができます。

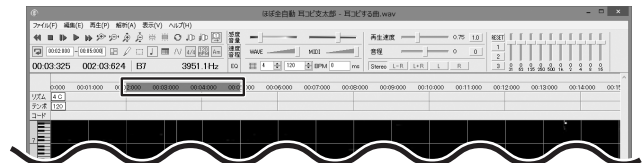
リピート再生区間を設定して、ノート編集を少しずつ進めていくときなどに便利です。

キーボードの[Shift]キーを押しながら、矢印キー[→]を押すと、区間全体が右方向へ移動、矢印キー[←]を押すと、左へ移動します。

※数値入力欄にカーソルがある場合や、選択状態の場合は、上記の操作ができません。



グラフ上をクリックして、数値入力欄の選択状態を解除してください。



キーボードの[Shift]キーを押しながら[→]キーを押す！

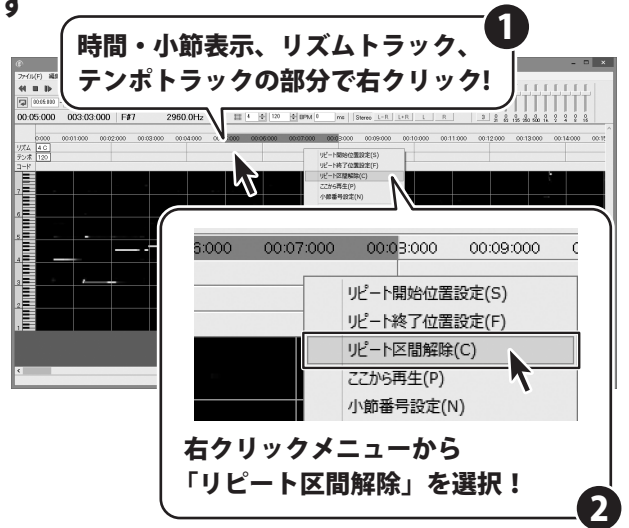


音声ファイルを再生する

4

リピートする区間を解除します

リピート区間を解除したい場合は、時間・小節表示、リズムトラック、テンポトラックの部分で右クリックすると表示されるメニューから、「リピート区間解除」を選択すると解除できます。

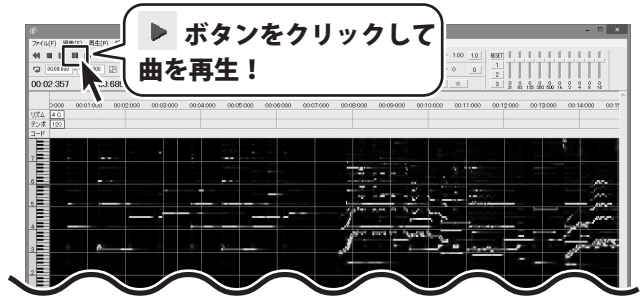


テンポを解析する

テンポを設定すると、レポート区間の移動、コード検出、自動採譜が小節、拍単位でできるようになります。
※4拍子以外の場合は、テンポを設定する前に拍子の設定をしてください。

1 音声ファイルを再生します

▶ ボタンをクリックして、音声ファイルを再生します。

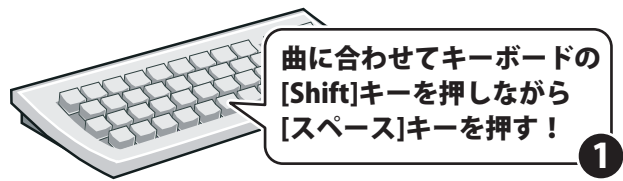
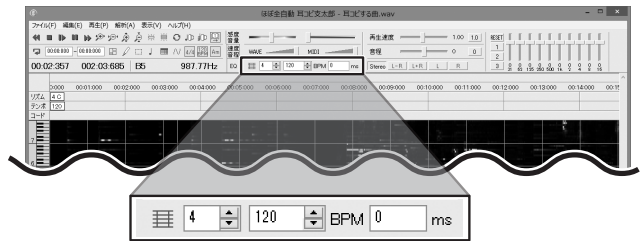


2 テンポを設定します

曲のテンポと第1小節1拍目の時間を自動的に設定します。

曲に合わせて [Shift] キーを押しながら、[スペース] キーを押します。テンポが変動しなくなるまで、キーボードを押し続けます。数拍で変動しなくなりますが、曲によっては、1分前後かかることもあります。

[Shift] キーと [Ctrl] キーを押しながら、[スペース] キーを押すと、0.01BPM 単位でテンポを解析します。



4 90 BPM 560 ms

4 63 BPM

4 63 BPM 1560 ms

テンポが変動しなくなったら完了!

第1小節1拍目の時間が自動的に設定されます



コードを検出・編集する

音声ファイルのコードを指定拍数ごとに検出することができます。

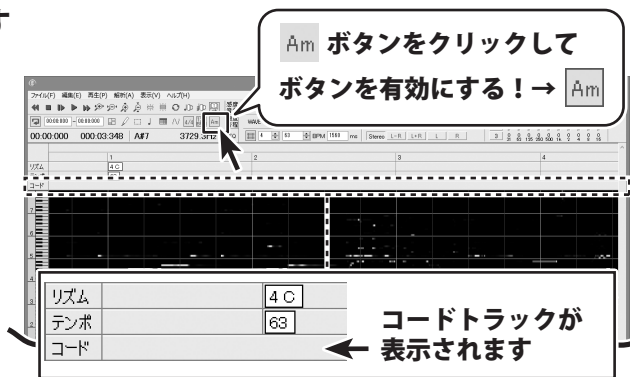
※コードを検出する前にテンポを設定しておいてください。テンポの設定方法は、19ページをご参照ください。

1 コードトラックを表示します

コードを検出する前に、テンポの設定をしておきます。(19ページをご参照ください)
テンポの設定をしておく、指定拍数ごとにコードを検出することができます。

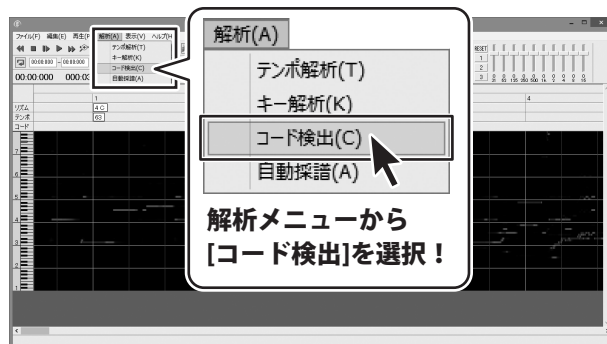
画面にコードトラックを表示します。

Am ボタンをクリックして、ボタンを有効にします。(Am 緑色)



2 コードを検出する設定をします

メニューバーの解析メニューから「コード検出」を選択します。
コード検出画面が表示されますので、設定を行います。



各項目を設定!



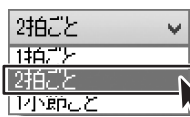
コードを検出・編集する

コードの設定が終わりましたら、OK ボタンをクリックしますと、設定した内容でコードが検出されます。

※テンポ、第1小節1拍目の時間を変更した場合は、データは自動更新されませんので、再度コード検出を行なってください。



① 検出位置



▼をクリックして
検出位置を選択!

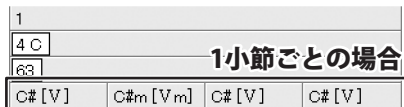
コードの検出位置を、1拍ごと、2拍ごと、1小節ごとから選択します。



1拍ごとの場合



2拍ごとの場合



1小節ごとの場合

② スケール上のコードを優先

スケール上のコードを優先

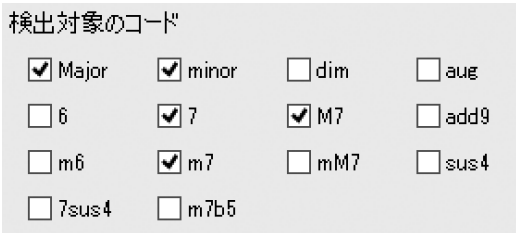
つまみを移動して
数値設定!

大きい値にすると、スケール上のコードが出やすくなります。

※曲の途中でキーが変わる曲には使用できません。

③ 検出対象のコード

検出対象のコードにチェックを入れます。



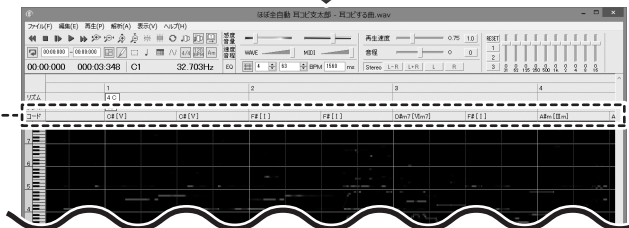
OK ボタンを
クリック!

OK

適用

キャンセル



63
C# [V] C# [V]
コードが検出されました



コードを検出・編集する

3

検出したコードを再生します



 ボタンをクリックして、ボタンを有効にすると( 緑色)、コードが再生されます。

コードの音のタイミングが Wave ファイルと少しずれている場合は、メニューバーのファイルメニューから [設定] を選択し、発音補正時間を入力して、調整してください。

発音補正時間 ミリ秒



補正時間を入力

 ボタンをクリックして
ボタンを有効にする! → 



4

コードを変更する場合

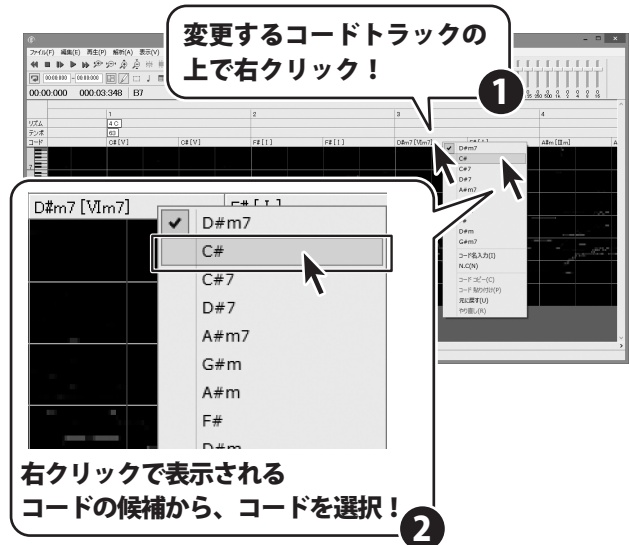
検出されたコードを編集することができます。

コードトラックの上を右クリックして変更する

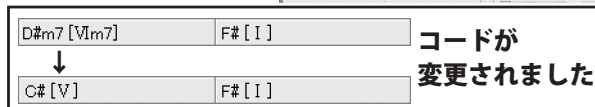
変更したいコードトラックの上で右クリックすると、コードの候補が表示されますので、コードを選択すると変更されます。コードの候補は、上から第一候補になります。

コードトラックを右クリックして変更する場合

変更するコードトラックの上で右クリック!



右クリックで表示される
コードの候補から、コードを選択!

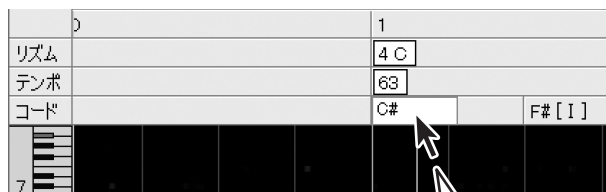


コードを検出・編集する

コード名をダブルクリックして変更する

コード名をダブルクリックすると
コード名を直接入力することができます。

コード名をダブルクリックして変更する場合



変更するコードの上を
ダブルクリックして
コードを入力!

5 コードを追加・削除する場合

任意の箇所にコードを追加することができます。

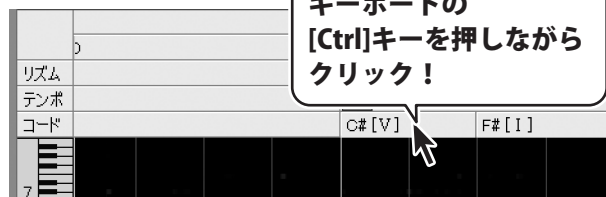
コードを追加する

コードトラック上のコードを追加したい箇所にカーソルを合わせて、キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、コードが追加されます。

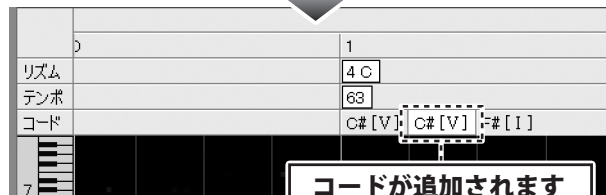
コードを削除する

コードトラック上の削除したいコードにカーソルを合わせて、キーボードの [Ctrl] キーを押しながらクリックすると、コードが削除されます。

コードを追加する場合

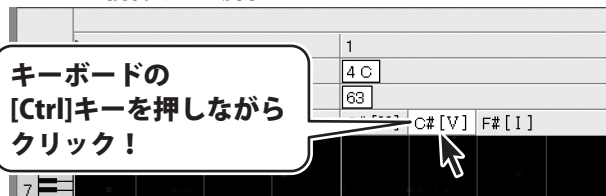


キーボードの
[Ctrl]キーを押しながら
クリック!

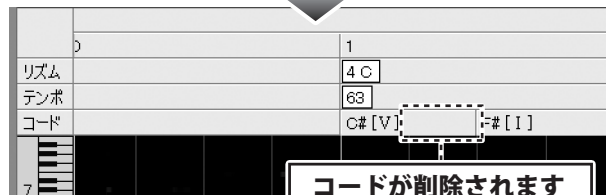


コードが追加されます

コードを削除する場合



キーボードの
[Ctrl]キーを押しながら
クリック!



コードが削除されます

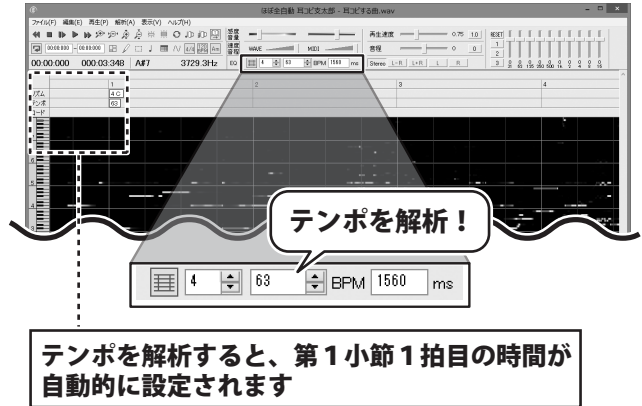
採譜する

自動採譜する

自動的に採譜を行い、指定したトラックに追加、上書きします。

1 テンポを解析します

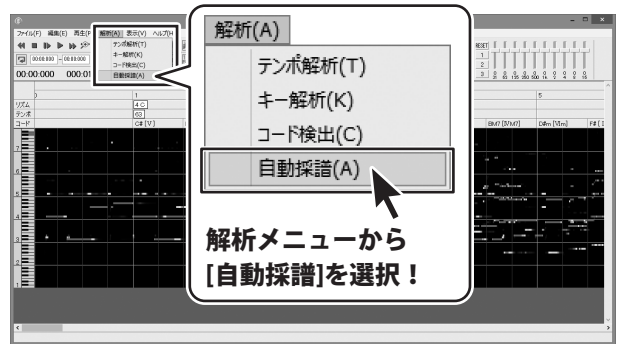
自動採譜をする前に、Wave ファイルのテンポを解析します。テンポを解析しておくことで、小節、拍単位で自動採譜します。(テンポの解析方法は、19 ページをご参照ください。)



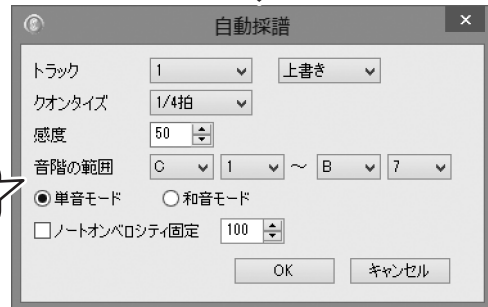
2 自動採譜の設定をします

メニューバーの「解析」メニューから「自動採譜」を選択します。

自動採譜画面が表示されますので、各項目を設定します。

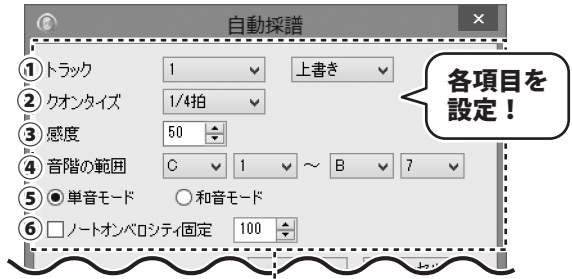


各項目を設定!



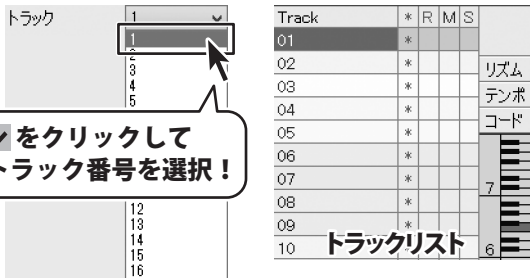
採譜する

自動採譜の設定が完了したら、OK ボタンをクリックしますと、設定した内容で自動採譜され、ノートが配置されます。



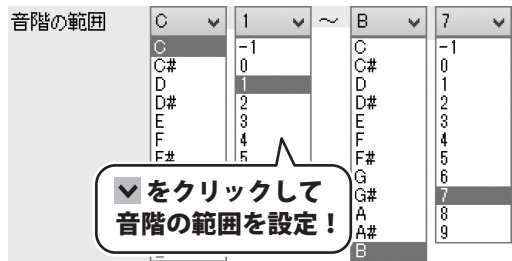
①トラック

自動採譜するトラックを選択します。



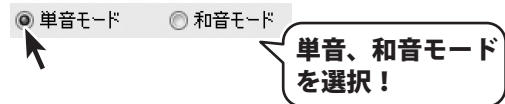
④音階の範囲

▼をクリックして、音階の範囲を設定します。



⑤単音モード・和音モード

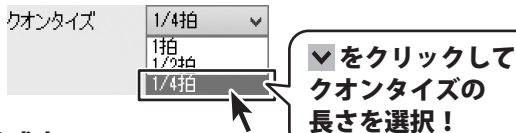
単音モードか和音モードで採譜するかを選択します。



②クオンタイズ

音符の長さを設定します。

1拍、1/2拍、1/4拍から選択します。



③感度

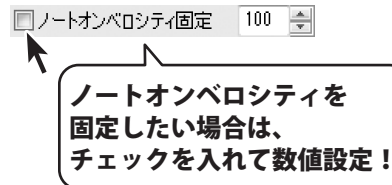
1~200の間で音の感度を設定します。

値が大きいほど、音をひろめます。



⑥ノートオンベロシティ固定

音源の音の大きさを固定して採譜したい場合は、チェックを入れて、音の大きさの値を1~127の間で入力します。値が大きいほど、大きな音で取り込まれます。



OK ボタンをクリック!



OK

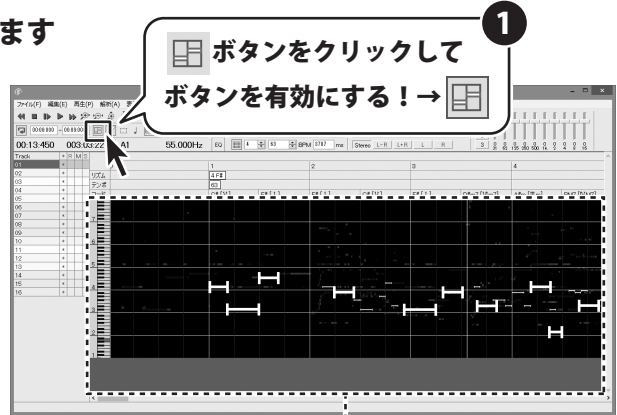
キャンセル

採譜する

3 ノート編集モードに切り替えます

グラフ表示をノート編集モードにして自動採譜で配置したノートを確認します。

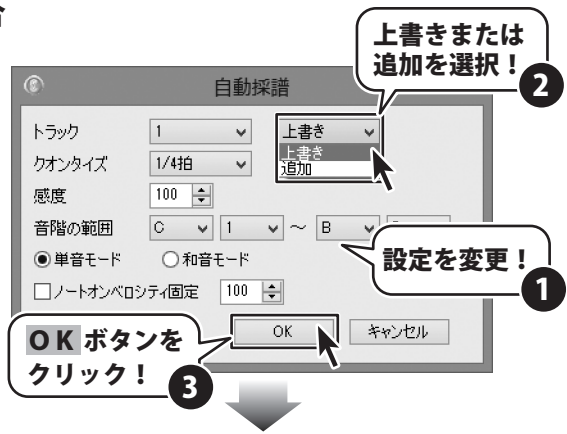
 ボタンをクリックして、ボタンを有効にすると( 緑色)、グラフ表示がノート編集モードになります。



2 ノート編集モードに切り替わり、自動採譜で配置したノートが確認できます

4 自動採譜を上書き・追加する場合

音を多く採譜してしまった時、小さい音を採譜できなかった時などは、自動採譜画面で、感度の値を調整して上書きで自動採譜します。



ノートを上書きしました

ノートを配置、編集する

グラフ表示、Wave ファイルをもとに、マウス操作でノートを配置、編集します。

1 ノート編集モードにします

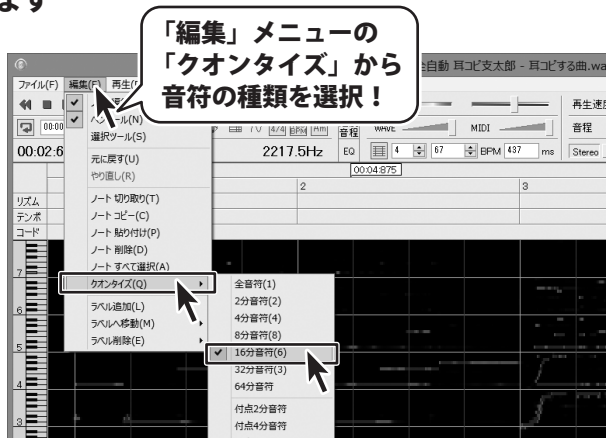
ボタンをクリックして、ボタンを有効にすると(ボタン 緑色)、グラフ表示がノート編集モードになります。



2 ノート編集モードに切り替わります



2 配置する音符の長さを設定します

メニューバーの「編集」メニューの「クオンタイズ」から、音符を選択します。

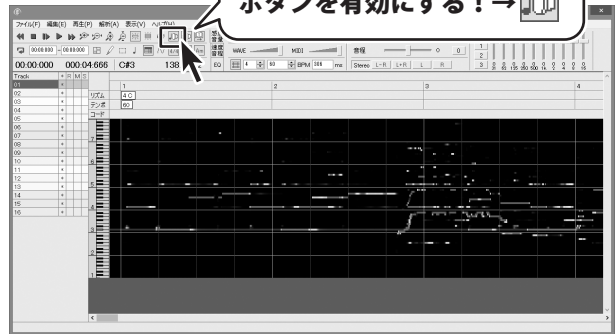




3

発音機能・ハイライト表示を有効にします

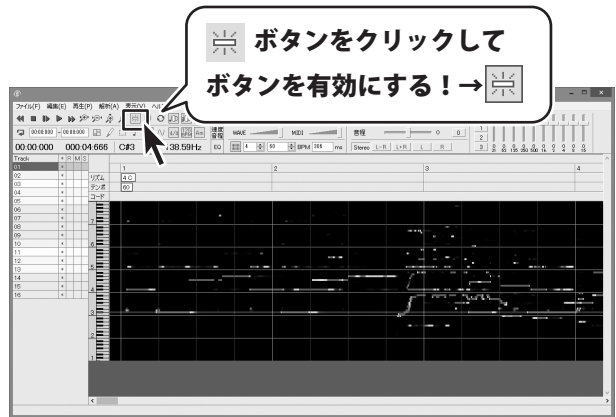
 ボタンをクリックして、ボタンを有効(緑色)にします。
 ボタンが有効になっている時は、発音機能が有効になります。

グラフ上でクリックした位置の音を発音します。左のピアノロール上で、カーソルの位置の音階を赤く表示します。



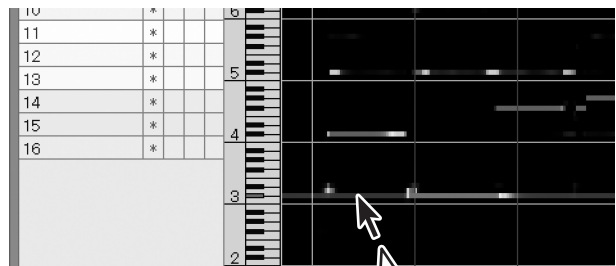
 ボタンをクリックして、ボタンを有効(緑色)にします。
 ボタンが有効になっている時は、グラフ上のカーソルがある位置の音階を、白い線でハイライト表示します。


※倍音表示の場合は、「ファイル」メニューの「設定」で、何倍音まで表示するかを設定できます。設定画面の詳細は、PDF マニュアル 14 ページをご参照ください。



グラフ上をクリックすると、クリックした位置の音階を発音します。



カーソルがある位置がハイライト機能により白く表示され、ピアノロール上でも赤く表示されるので、音階がわかりやすくなります。



 クリックした位置の音階を発音!
 また、カーソル位置の音階をピアノロールで赤く表示します!

4



ペンツールでノートを配置します

 ボタンをクリックして、ボタンを有効(緑色)にします。
 ボタンが有効になっている時は、ノートの配置、編集ができます。


ノートを配置したい場所でクリックすると、新しくノートが配置されます。
 また、ドラッグ&ドロップすると、ノートが長く配置されます。

〈配置したノートの調整方法〉

ノートの左半分をドラッグすると、ノートの位置を移動できます。
 ノートの右半分をドラッグすると、ノートの長さを変更できます。

 ボタンをクリックして
 ボタンを有効にする! → 

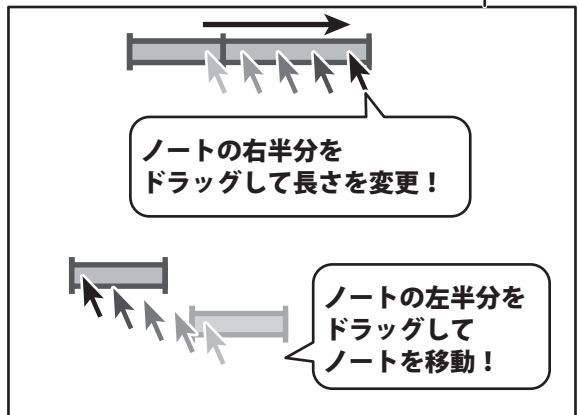


 グラフ上でクリック
 ノートするとノートを配置!



ノートの右半分を
 ドラッグして長さを変更!

ノートの左半分を
 ドラッグして
 ノートを移動!





5



配置したノートを選択して編集します



矩形ツールでノートを選択する場合

 ボタンをクリックして、ボタンを有効(緑色)にします。
 ボタンが有効になっている時は、ノートを矩形で選択します。

選択開始位置にカーソルをあわせて、対角線方向へドラッグ&ドロップすると矩形が白く表示され、範囲を選択します。

 ボタンをクリックして
 ボタンを有効にする! → 



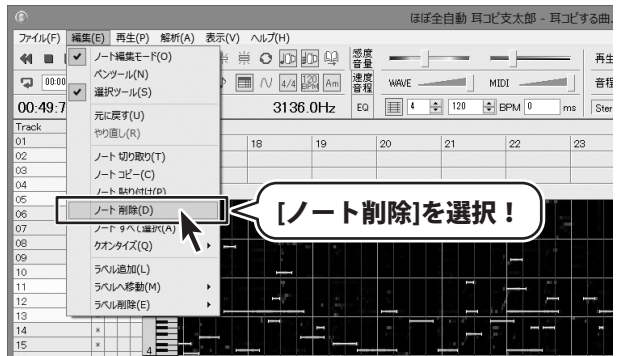
選択開始位置にカーソルをあわせて、ドラッグ&ドロップで矩形を作成!



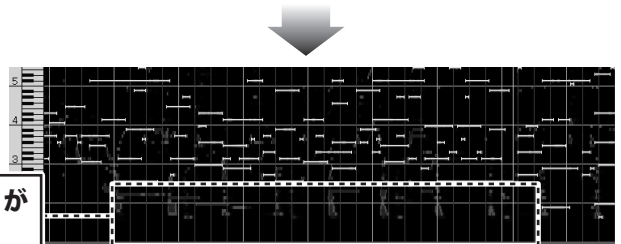
選択した範囲全体をドラッグして移動したり、メニューバーの「編集」メニューから、ノート切り取り、ノートコピー、ノート削除などを選択して実行します。

右図例：「ノート削除」を選択した場合

[ノート削除]を選択!



選択した範囲のノートが削除されました



採譜する



時間選択ツールでノートを選択する場合



ボタン(矩形ツール)をクリックして、



ボタン(時間選択ツール)にします。

ノートを時間軸で選択します。
選択開始位置にカーソルをあわせて、左右の方向へドラッグ&ドロップすると、選択した時間軸の範囲が白くなります。
マウスを離すと、色は消えますが、ノートは選択状態になっています。

ボタンをクリックして

ボタン(時間選択ツール)にする！



選択開始位置にカーソルをあわせて、ドラッグ&ドロップすると時間軸で選択！



選択した範囲全体をドラッグして移動したり、メニューバーの「編集」メニューから、ノート切り取り、ノートコピー、ノート削除などを選択して実行します。

右図例：「ノートコピー」を選択した場合
選択した範囲のノートをコピーして、別の位置に貼り付けることができます。

貼り付けたい位置でクリックすると、紫色の縦線が表示されます。

「編集」メニューから「ノート貼り付け」を選択すると、選択した時間軸のノートを指定した位置へ貼り付けます。

[ノートコピー]を選択！



1
貼り付けたい位置でクリック！紫色の線が表示！



2
[ノート貼り付け]を選択！



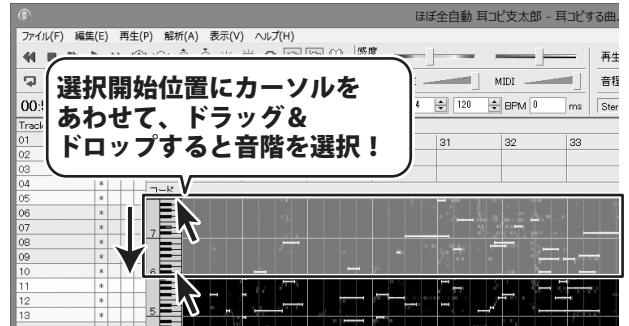
3
選択した範囲のノートが貼り付けられました

採譜する

音階選択ツールでノートを選択する場合

-  ボタン(矩形ツール)を2回クリックして、
-  ボタン(音階選択ツール)にします。

ノートを音階で選択します。
グラフ上または、ピアノロール上で
選択開始位置にカーソルをあわせて、上下の
方向へドラッグ&ドロップすると、選択した音階
の範囲が白くなります。
マウスを離すと、色は消えますが、
ノートは選択状態になっています。



選択した範囲全体をドラッグして移動したり、
メニューバーの「編集」メニューから、
ノート切り取り、ノートコピー、ノート削除など
を選択して実行します。

右図例：「ノート切り取り」を選択した場合
選択した範囲のノートを切り取ります。

切り取った内容は、
「編集」メニューから「ノート貼り付け」を
選択すると、貼り付けられます。



2 選択した範囲のノートが切り取られました

6

WAVE音量とMIDI音量を調節します

Wave ファイルを再生しながら、編集したノートの音を確認したり、

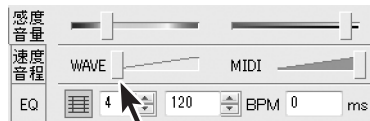
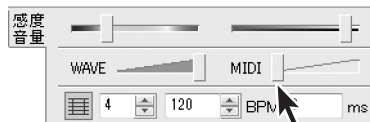
Wave ファイルを同時再生しながらノート編集する場合など、WAVE 音量と MIDI 音量を調節すると、作業がやりやすくなります。

ツールボタンの隣にある感度音量タブをクリックします。

タブのすぐとなりには WAVE 音量と MIDI 音量の調整つまみが表示されます。

WAVE は音声ファイルの音量、MIDI はノートの音量を調節します。

※MIDI 音源の特性により、WAVE に比べてノートの発音が遅れることがあります。ノートの発音が遅れるときは、「ファイル」メニューの「設定」で発音補正時間を設定してください。例えば 50 ミリ秒を指定すると、ノートの発音が 50 ミリ秒早くなります。



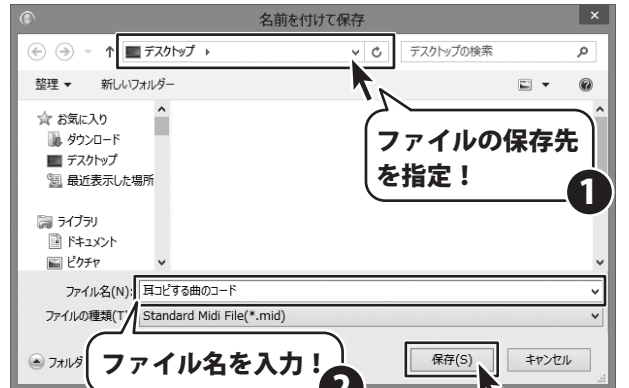
ファイル出力する

コードをMIDIファイルに出力する

メニューバーの「ファイル」メニューから「コードを MIDI ファイルに出力」を選択します。

名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックします。

指定した保存先に、MIDI ファイル(拡張子 .mid) が保存されているのが確認できます。



保存 ボタンをクリック！



MIDIファイルが保存されました

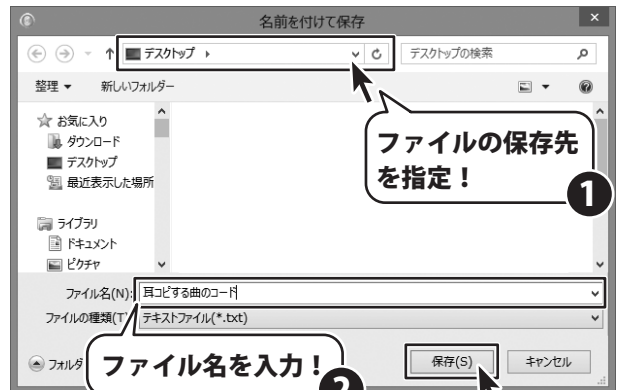
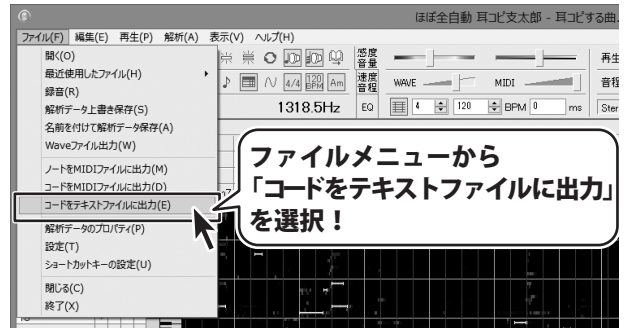
ファイル出力する

コードをテキストファイルに出力する

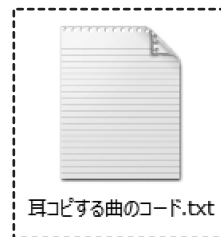
メニューバーの「ファイル」メニューから「コードをテキストファイルに出力」を選択します。

名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックします。

指定した保存先に、テキストファイル(拡張子 .txt)が保存されているのが確認できます。



保存 ボタンをクリック！ ③



テキストファイルが保存されました

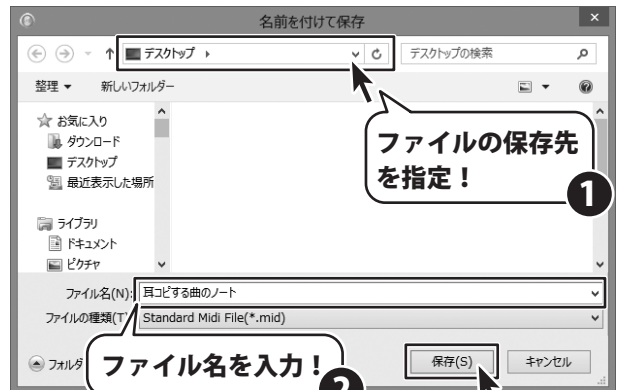
ファイル出力する

ノートをMIDIファイルに出力する

メニューバーの「ファイル」メニューから「ノートをMIDIファイルに出力」を選択します。

名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックします。

指定した保存先に、MIDI ファイル(拡張子 .mid) が保存されているのが確認できます。



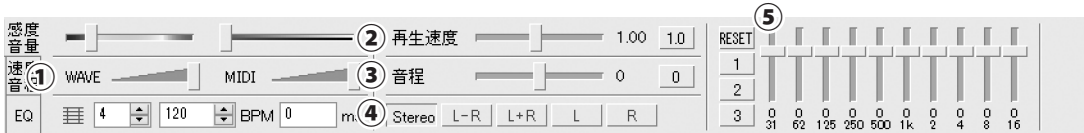
保存 ボタンをクリック! ③



MIDIファイルが保存されました

ファイル出力する

音源ファイルに再生速度、音程、イコライザ、フィルタを適用して Wave ファイルに出力する



①WAVE 音量、②再生速度、③音程、④フィルタ、⑤イコライザの設定を変更すると、変更した音声をリアルタイムに確認でき、Wave ファイルに出力することができます。

例として、再生速度を変更した音源ファイルを Wave ファイルに出力する手順を説明します。

1 再生速度を変更します

再生速度は、初期値では 1.0 になっています。つまみをドラッグ&ドロップして移動します。
早まわしの時は右へ(1.05 ~ 2.00)、
遅まわしの時は左へ(0.95 ~ 0.10)設定します。



2 Waveファイルに出力します

設定が終わりましたら、「ファイル」メニューから、「Wave ファイル出力」を選択します。

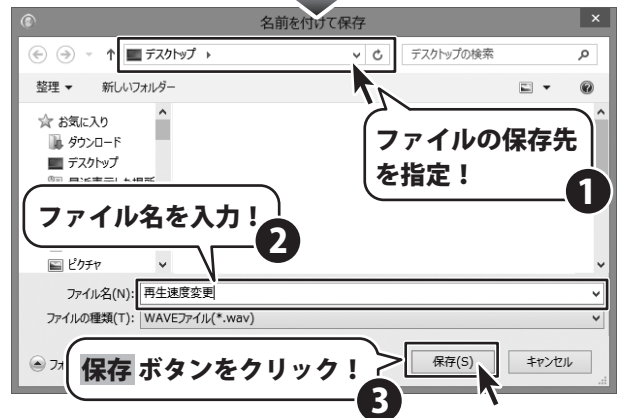
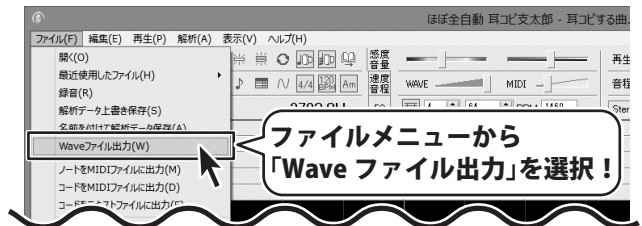
名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックします。

指定した保存先に、Wave ファイル(拡張子 .wav)が保存されているのが確認できます。



←出力した Waveファイル

再生速度変更.wav



データを保存する

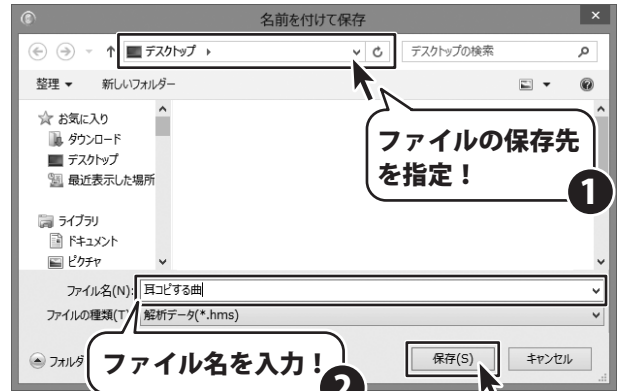
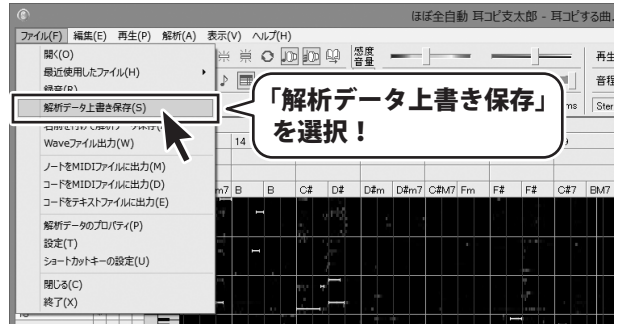
解析データを保存する

メニューバーの「ファイル」メニューから「解析データ上書き保存」を選択します。

名前を付けて保存画面が表示されますのでデータの保存先を指定し、ファイル名を入力して、**保存** ボタンをクリックします。

指定した保存先に、解析データが保存されます。
(拡張子.hms)

2回目以降に上書き保存するときは、名前をつけて保存画面は表示されずに保存されます。



保存 ボタンをクリック！



解析データが保存されました

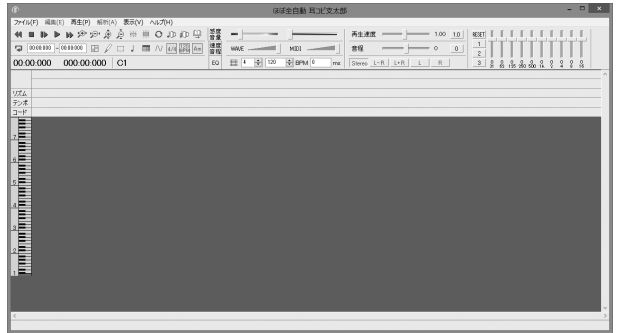
保存した解析データを開く

1

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を起動します

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を起動します。
(起動方法は、8～9ページをご参照ください。)

右図のようなメイン画面が表示されます。

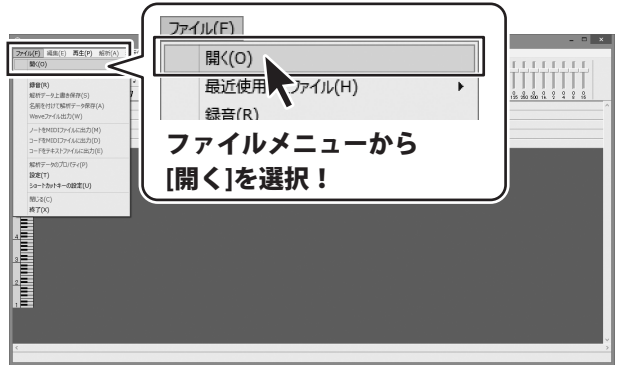


2

音声ファイル(Wave形式)を開きます

「ファイル」メニューから「開く」を選択します。
[開く]画面が表示されますので、ファイルの保存先を指定し、ファイルを選択したら、**開く** ボタンをクリックします。

また、Waveファイルをメイン画面にドラッグ & ドロップして、ファイルを開くこともできます。



保存した解析データを開く

3

解析データを開きます

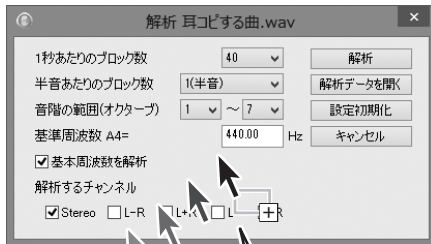
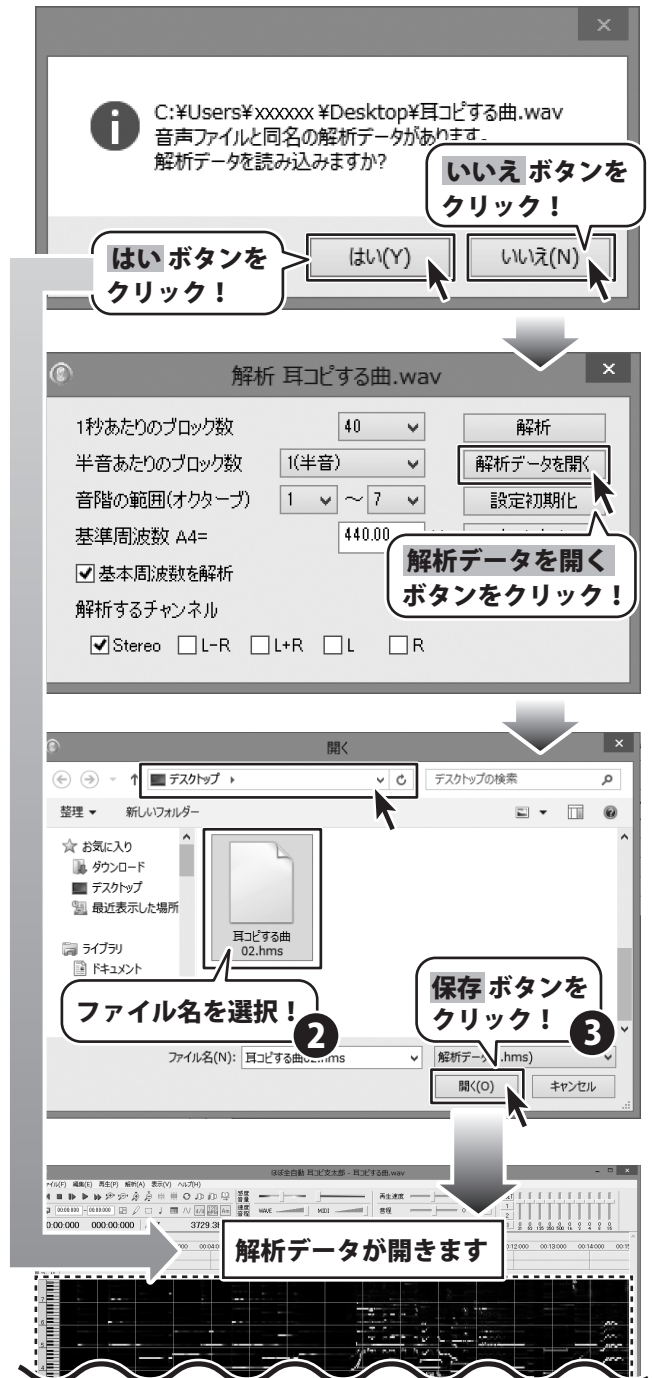
音声ファイルと同じファイル名で解析データを保存した場合は、右記のメッセージが表示されます。

同じファイル名で保存した解析データを読み込む場合は、はい ボタンをクリックします。ファイルの解析が始まります。

他のファイル名で保存した解析データを読み込みたい場合は、いいえ ボタンをクリックすると、解析画面が表示されます。

解析画面で、解析データを開く ボタンをクリックすると、開く画面が表示されますのでファイルの保存先を指定し、ファイルを選択して開く ボタンをクリックすると、ファイルの解析が始まります。

解析画面に解析データ（拡張子.hms）をドラッグ&ドロップして開くこともできます。



ファイルをドラッグ&ドロップ!

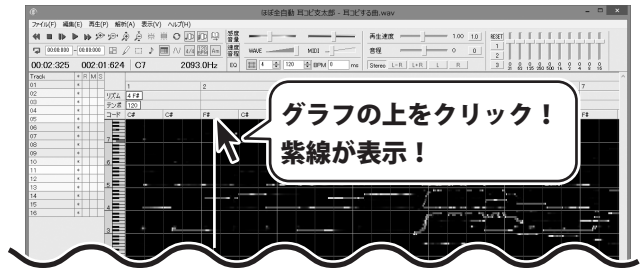
その他の機能・操作説明

ラベルを設定する

曲の節目やすぐに再生したい位置などにラベルを設定して、設定したラベルの位置へ簡単に移動できる機能です。

1 ラベルを設定する場所を指定します

解析グラフ上の、ラベルを設定したい位置でクリックすると、紫色の縦線が表示されます。その線の位置にラベルを設定します。

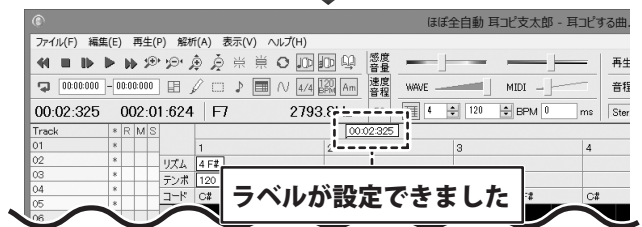
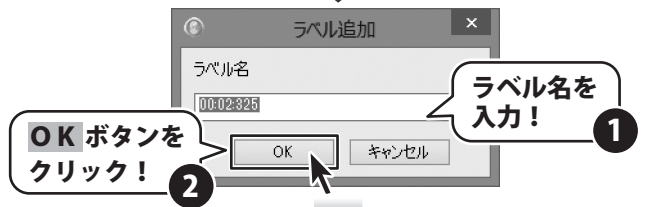
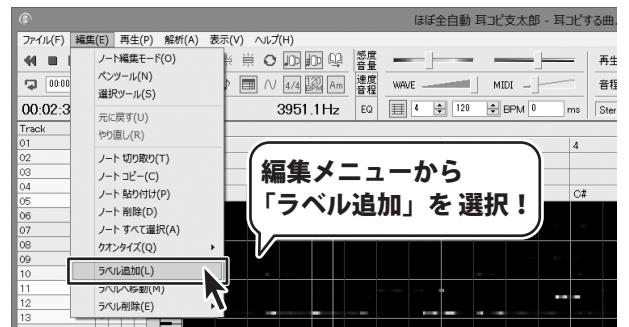


2 ラベルを設定します

メニューバーから設定する場合
メニューバーの「編集」メニューから「ラベル追加」を選択します。

ラベル追加画面が表示されますので、ラベル名を設定して、OK ボタンをクリックします。

※ラベル名には、ラベルを設定した位置の時間が表記されていますが、任意の名前を設定できます。

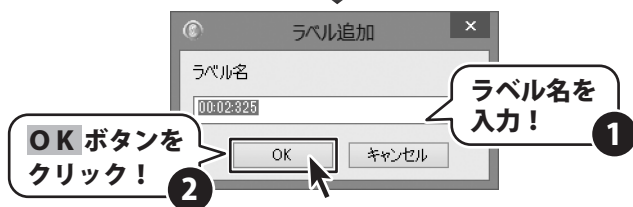


その他の機能・操作説明

ラベルトラックで設定する場合

ラベルトラックをダブルクリックしてラベルを追加します。

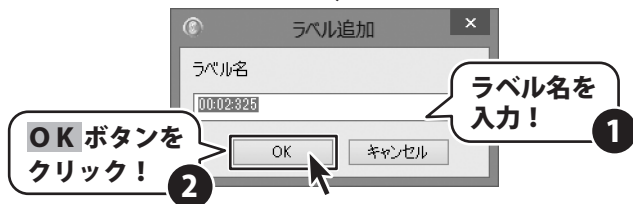
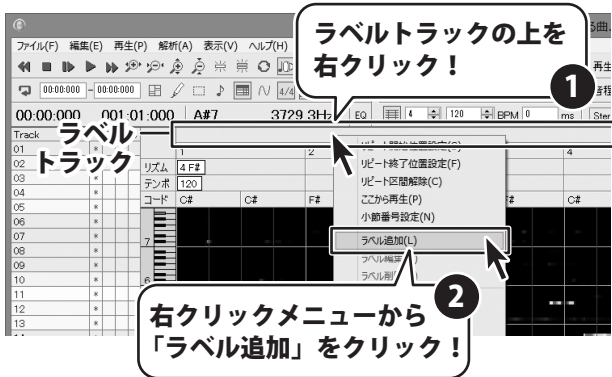
ラベル追加画面が表示されますので、41 ページと同様にラベル名を設定すると、ラベルが追加されます。



右クリックメニューで設定する場合

ラベルトラックを右クリックして、表示されるメニューから、「ラベル追加」を選択します。

ラベル追加画面が表示されますので、41 ページと同様にラベル名を設定すると、ラベルが追加されます。




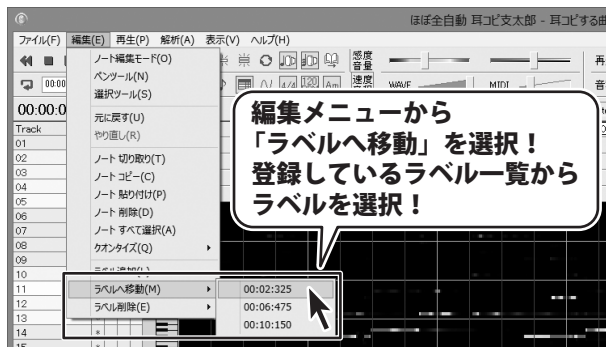
3 ラベルの位置へ移動します

メニューバーからラベル移動する場合

メニューバーの「編集」メニューから「ラベルへ移動」を選択すると、設定したラベルの一覧が表示されます。



その中から選択したラベルの位置へ、再生位置（紫の縦線）が移動します。



移動したラベルの位置を画面上で表示したい場合は、 ボタン（オートスクロール）を有効にしておいてください。

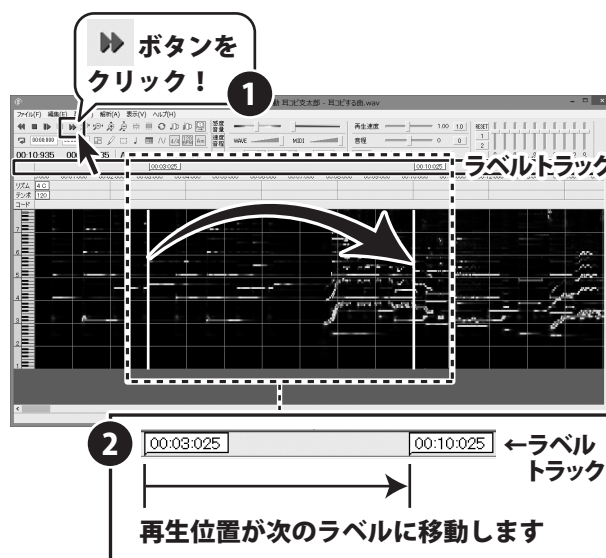


指定したラベルへ移動しました

ツールボタンでラベル移動する場合

  ボタンをクリックして、前後のラベルへ、再生位置を移動します。

ラベルを設定していない時に、  ボタンをクリックすると、5秒移動します。



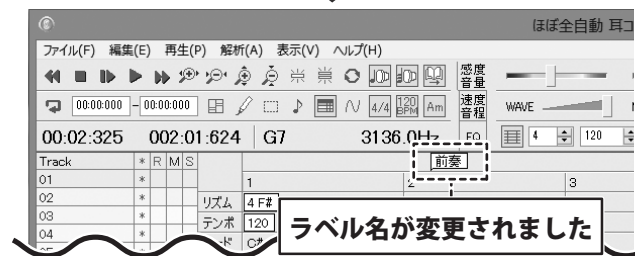
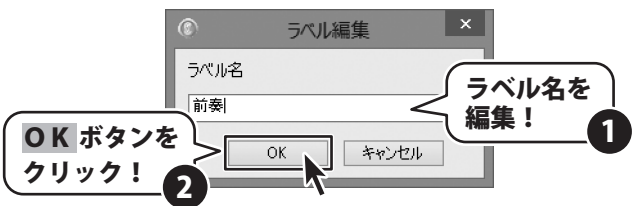
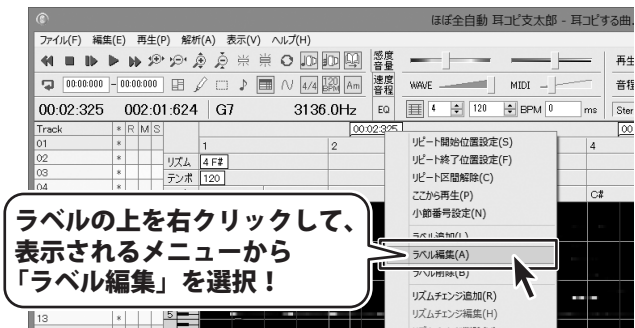
再生位置が次のラベルに移動します

4 ラベルの名称を変更する場合

ラベルの上で右クリックして表示されるメニューから、「ラベル編集」を選択します。

ラベル編集画面が表示されますので、ラベル名を編集して、OK ボタンをクリックします。

※ラベルの上でダブルクリックしても、同様にラベル編集画面が表示されます。

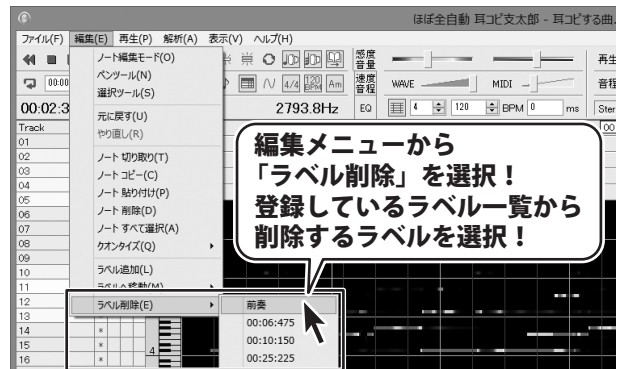


5

ラベルを削除する場合

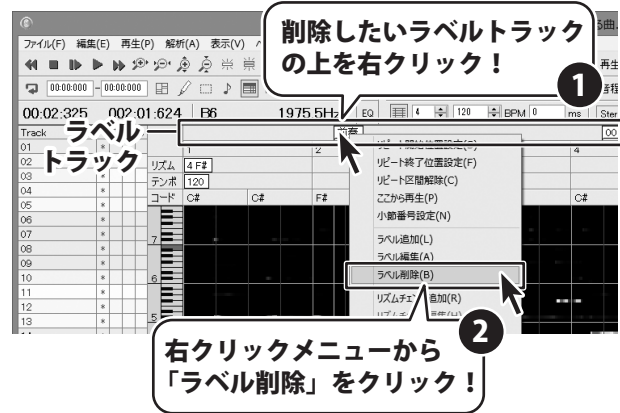
メニューバーからラベルを削除する場合

「編集」メニューから「ラベル削除」を選択すると、設定したラベルの一覧が表示されます。その中から、削除したいラベルの名称を選択すると、ラベルが削除されます。



右クリックメニューで削除する場合

削除したいラベルの上を右クリックして、表示されるメニューから、「ラベル削除」を選択すると、ラベルが削除されます。



その他の機能・操作説明

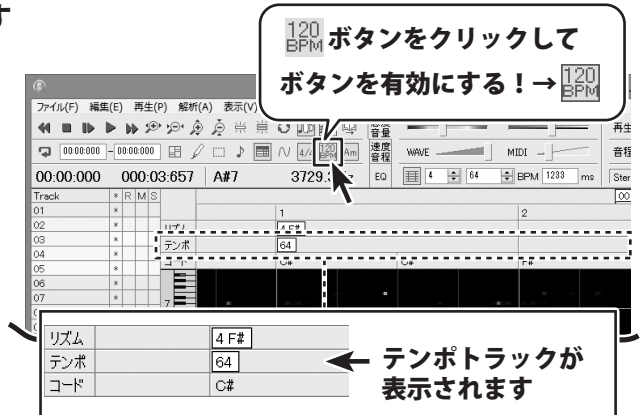
テンポチェンジする

曲の任意の場所でテンポを変えることができます。
あらかじめ、テンポを設定しておいてください。(19ページをご参照ください)

1 テンポトラックを表示します

画面にテンポトラックを表示します。

120 BPM ボタンをクリックして、ボタンを有効にします。(120 BPM 緑色)

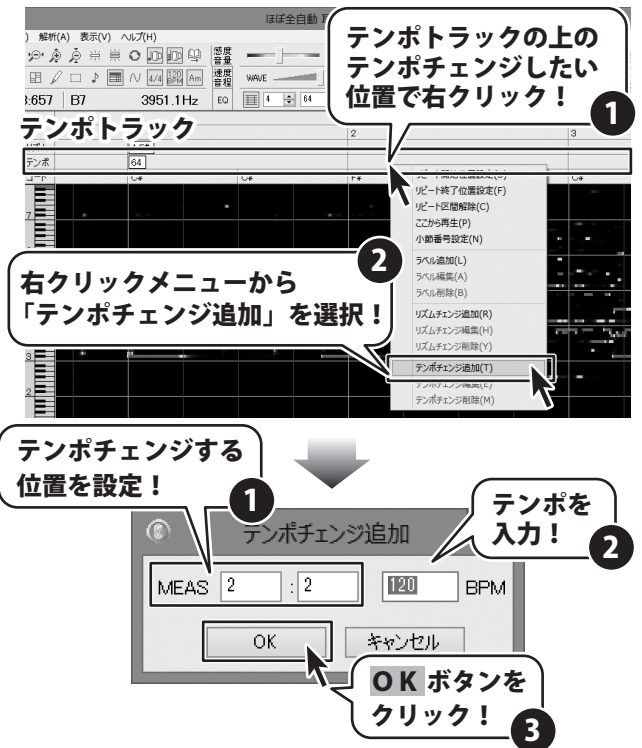


2 テンポチェンジする場所を指定します

テンポトラック上のテンポチェンジする場所で右クリックして、表示されるメニューの中から「テンポチェンジ追加」を選択します。
または、テンポトラック上のテンポチェンジする場所でダブルクリックすると、テンポチェンジ追加画面が表示されます。

MEASは、テンポトラック上でクリックした位置（小節番号）を表記しています。
小節番号を数値入力すると、指定した位置でテンポチェンジを追加することができます。

BPMは、曲の速さです。
数値が高いほど、曲はアップテンポになります。
BPMの数値を入力したら、OK ボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明



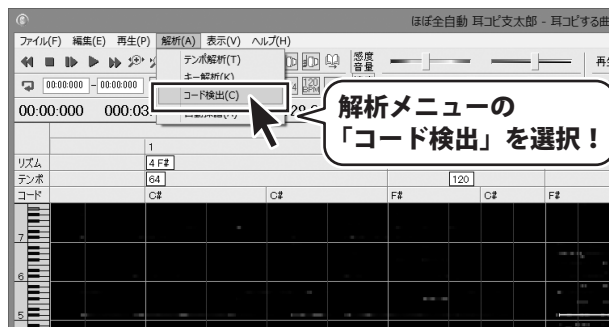
テンポチェンジが追加されました

3

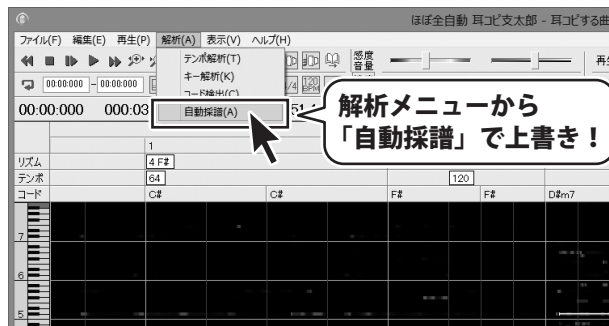
テンポチェンジをMIDIデータに反映します

テンポチェンジの追加が終わりましたら、変更したテンポに合わせてコードを検出し直します。コードを検出については、20ページをご参照ください。

自動採譜の場合も、再度自動採譜して、ノート・ノートの配置を上書きします。自動採譜については、24～26ページをご参照ください。



コード検出の詳細は、20ページをご参照ください。



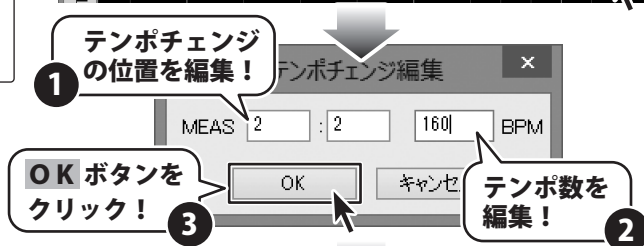
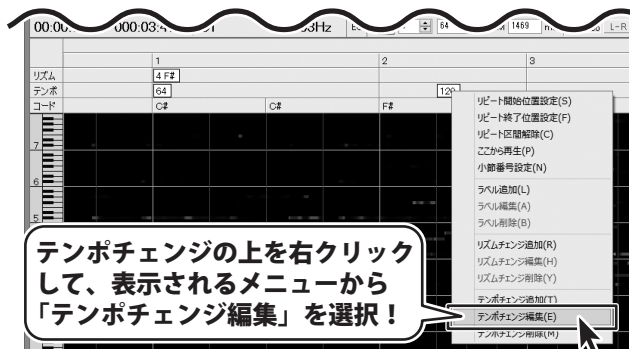
自動採譜の詳細は、24～26ページをご参照ください。

4 テンポチェンジを編集する場合

テンポチェンジの上で右クリックして、表示されるメニューから、「テンポチェンジ編集」を選択します。

テンポチェンジ編集画面が表示されますので、位置とテンポ数を編集して、OK ボタンをクリックします。

※テンポチェンジの上でダブルクリックしても、同様にテンポチェンジ編集画面が表示されます。



5 テンポチェンジを削除する場合

削除したいテンポチェンジの上を右クリックして、表示されるメニューの中から、「テンポチェンジ削除」を選択すると、削除することができます。



その他の機能・操作説明

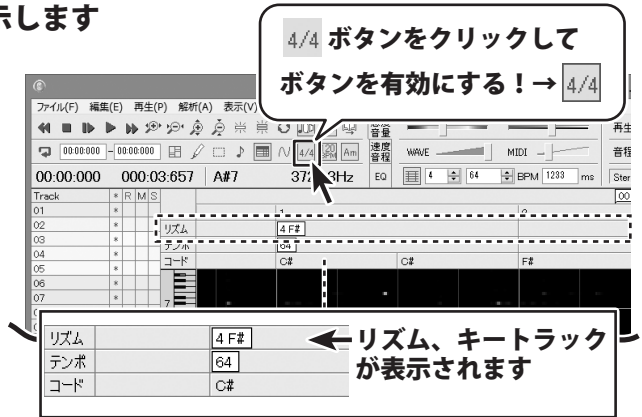
リズム・キーチェンジする

曲の任意の場所で、リズム、キーチェンジを行います。

1 リズム、キートラックを表示します

画面にリズム、キートラックを表示します。

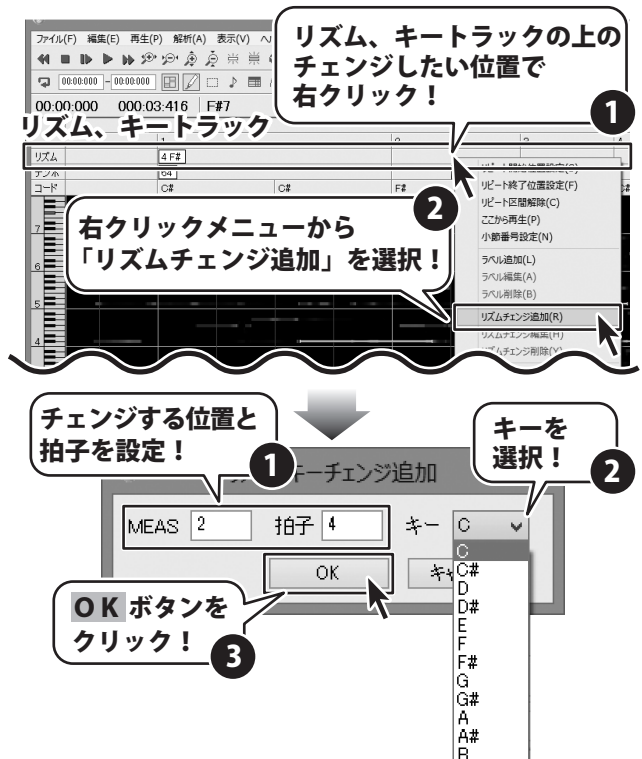
4/4 ボタンをクリックして、ボタンを有効にします。(4/4 緑色)



2 リズム、キーチェンジする場所を指定して追加します

リズム、キートラック上のチェンジする場所で右クリックして、表示されるメニューの中から「リズムチェンジ追加」を選択します。または、リズム、キートラック上のチェンジする場所でダブルクリックすると、リズムチェンジ追加画面が表示されます。

MEASは、リズム、キートラック上でクリックした位置（小節番号）を表記しています。小節番号を数値入力すると、指定した位置でリズム・キーチェンジを追加することができます。リズム（拍子）と、キーを変更したら、OKボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明



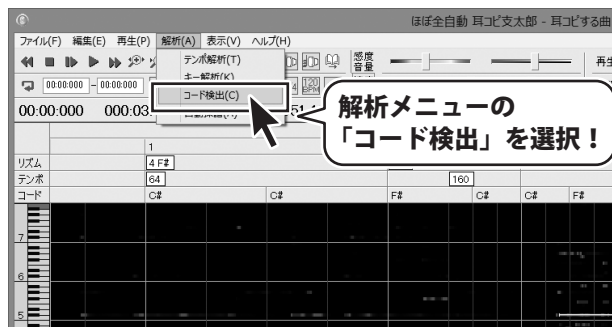
リズム、キーチェンジが追加されました

3

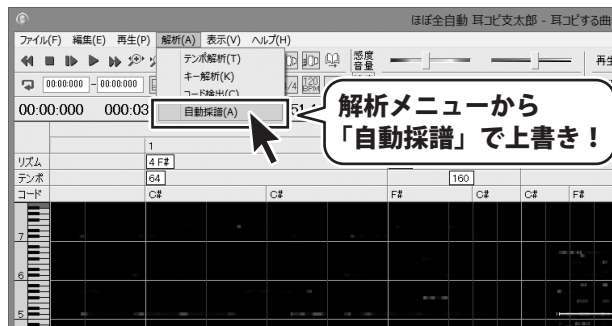
リズム、キーチェンジをMIDIデータに反映します

リズム、キーチェンジの追加が終わりましたら、変更したリズム、キーに合わせてコードを検出し直します。コードを検出については、20ページをご参照ください。

自動採譜の場合も、再度自動採譜して、ノートの配置を上書きします。自動採譜については、24～26ページをご参照ください。



コード検出の詳細は、20ページをご参照ください。



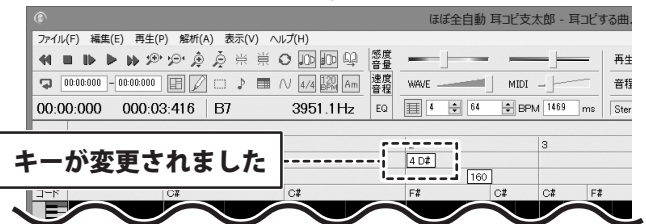
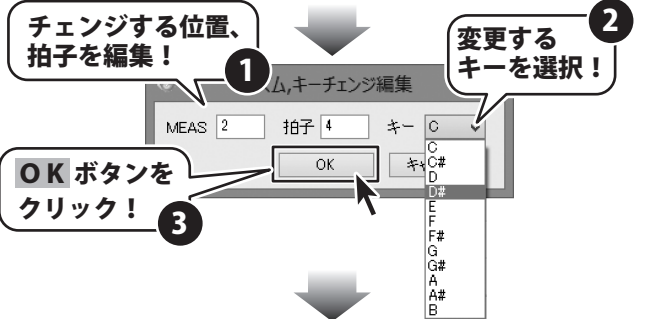
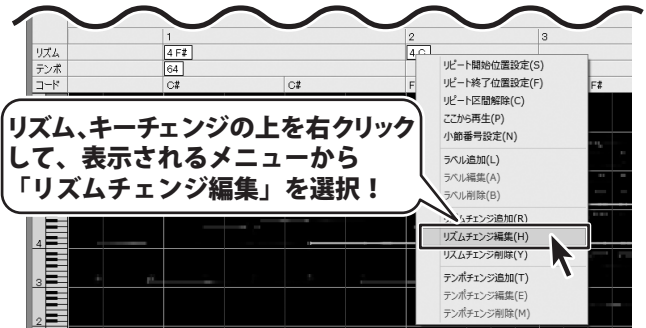
自動採譜の詳細は、24～26ページをご参照ください。

4 リズム、キーチェンジを編集する場合

リズム、キーチェンジの上で右クリックして、表示されるメニューから、「リズムチェンジ編集」を選択します。

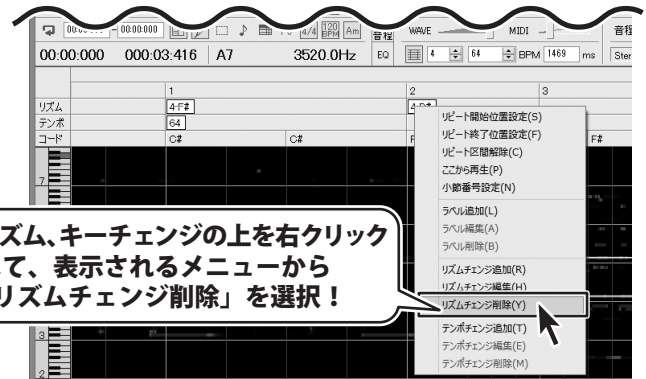
リズム、キーチェンジ編集画面が表示されますので、リズム、キーチェンジする位置、拍子、キーの編集をして、OK ボタンをクリックします。

※リズム、キーチェンジの上でダブルクリックしても、同様にリズム、キーチェンジ編集画面が表示されます。



5 リズム、キーチェンジを削除する場合

削除したいリズム、キーチェンジの上を右クリックして、表示されるメニューの中から、「リズムチェンジ削除」を選択すると、削除することができます。

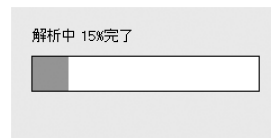
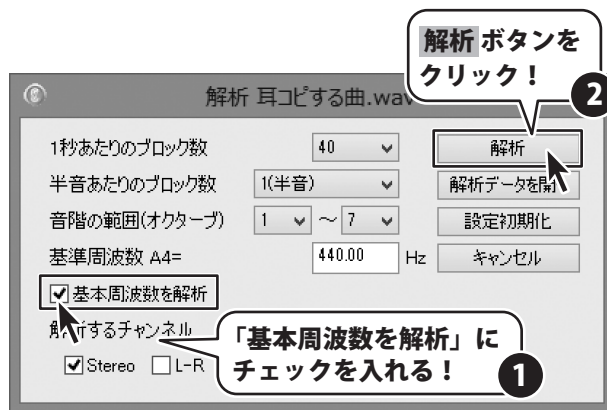


基本周波数を解析・表示する

1 解析画面で設定します

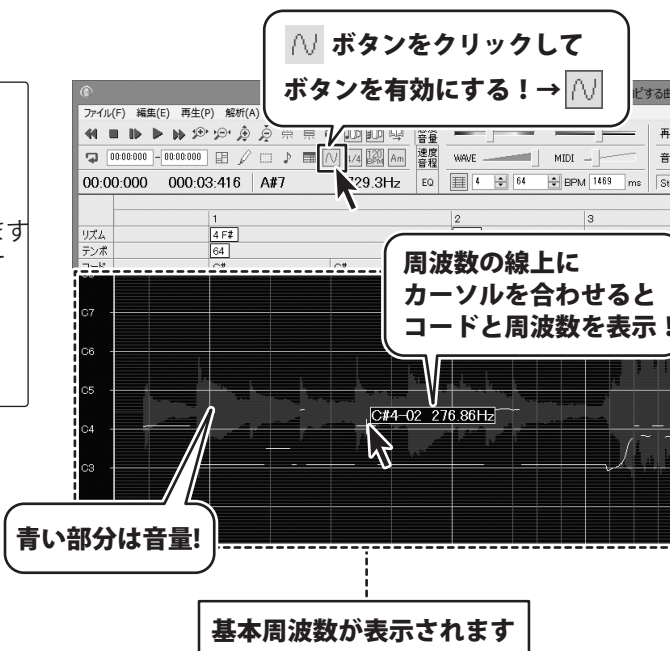
音声ファイルを開き、解析画面を表示します。
(10～12ページをご参照ください。)

解析画面で「基本周波数を解析」にチェックを入れて、**解析** ボタンをクリックします。

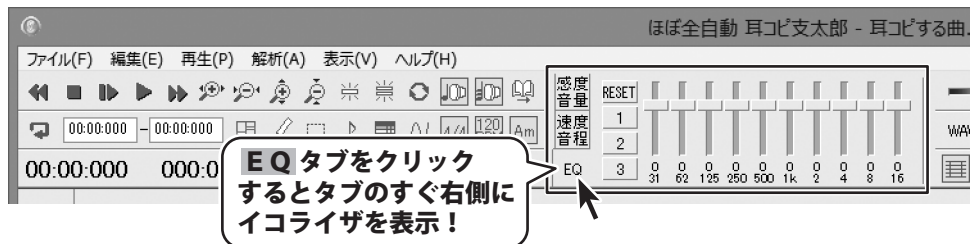


2 基本周波数を表示します

N ボタンをクリックして、ボタンを有効にすると (**N** 緑色)、基本周波数をグラフ表示します。
ボタンをクリックすると、色が交互に変わりますので、基本周波数の表示・非表示を切り替えてください。
周波数の線上にカーソルを合わせると、その位置のコードと周波数を表示します。



イコライザの設定・登録をする



1 イコライザの設定をします

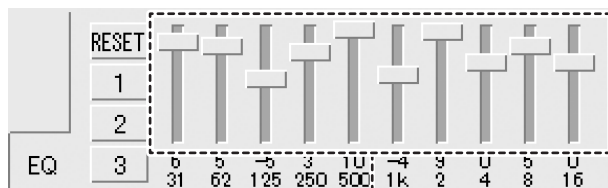
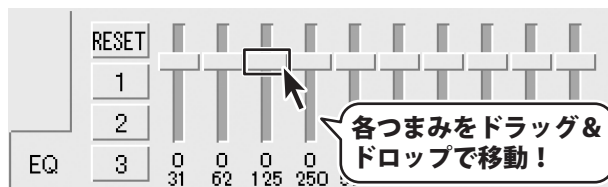
初期設定では、各数値はゼロになっています。音声を聴きながら、つまみの位置をドラッグ&ドロップして移動し、音を調整します。

以下は目安です。

31、62、125→低音部分

250、500、1K→ボーカル部分(中間音部分)

2k、4k、6k、8k、16k→高音部分

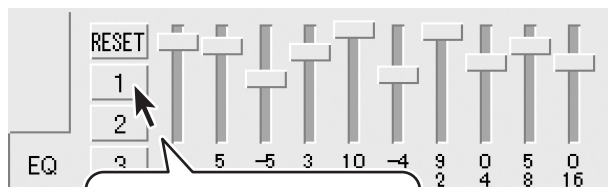


2 設定したイコライザを登録します

例として、1 ボタンに登録する場合、キーボードの [Ctrl] キーを押したまま、1 ボタンをクリックすると、1 ボタンに設定したイコライザがプリセットされます。

同様に、2 3 ボタンにもイコライザの設定を登録できます。

登録した数字ボタンをクリックすると、プリセットが適用されます。



パソコンで再生している音声を録音する

※パソコン内に内部の音を録音する機能がないパソコンでは録音することができません。

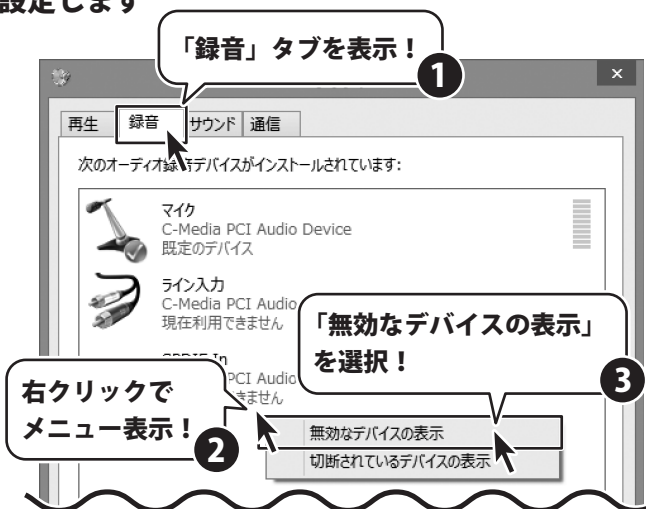
1 パソコンの録音デバイスを設定します

パソコンのコントロールパネルの「サウンド」を開きます。

録音タブを表示し、右クリックして、「無効なデバイスの表示」を選択してチェックを入れます。

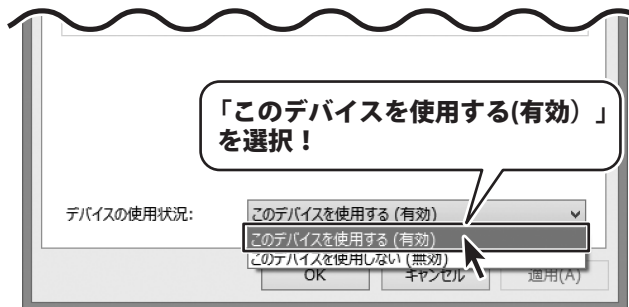
※オーディオデバイスがインストールされていない場合は、「無効なデバイスの表示」を選択してチェックを入れても表示されません。その場合は、録音はできません。

無効になっているデバイスが表示されましたら、デバイスを選択して「プロパティ」ボタンをクリックしてください。



その他の機能・操作説明

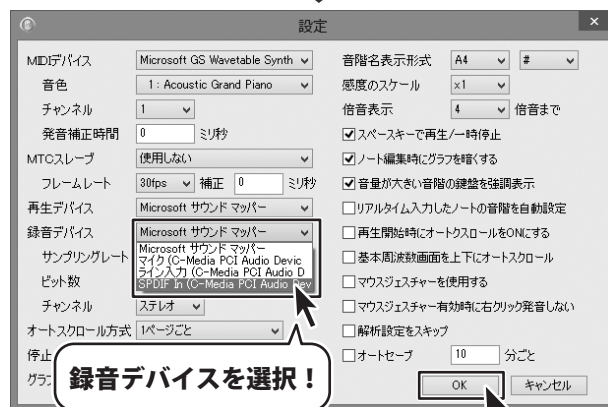
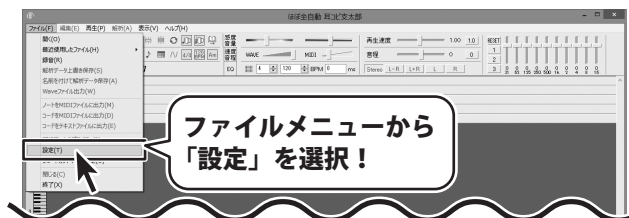
デバイスの使用状況で、「このデバイスを使用する(有効)」を選択し、**OK** ボタンをクリックします。



2 ソフトの録音デバイスを設定します

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を起動し、「ファイル」メニューから「設定」を選択して設定画面を表示します。

「録音デバイス」の項目で、▼をクリックしてデバイスを選択しましたら、**OK** ボタンをクリックしてください。



3

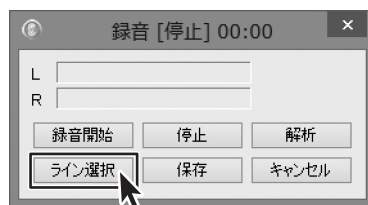
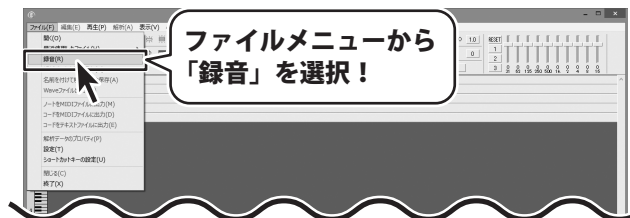
録音設定をします

「ファイル」メニューの「録音」を選択して録音画面を表示します。

録音画面の **ライン選択** ボタンをクリックすると、サウンド画面の [録音] タブが表示されます。

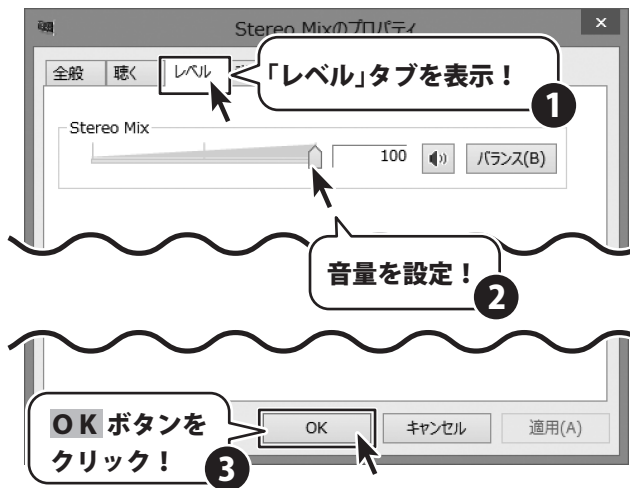
使用するデバイスを選択して、**プロパティ** ボタンをクリックしてください。

※WindowsXP では、録音コントロール画面が表示されます。



その他の機能・操作説明

「レベル」タブを表示し、音量を設定します。
ゼロになっていると、録音できません。
音量の設定にご注意ください。
設定ができましたら、OK ボタンをクリックしてください。

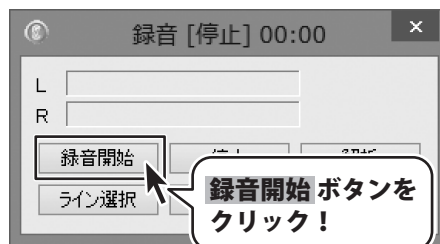


4 録音を開始します

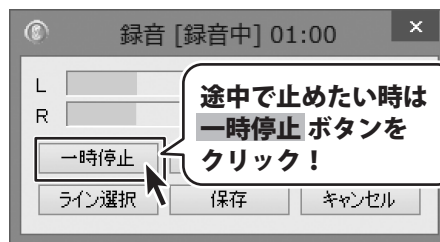
設定が終わりましたら、録音を開始します。
録音開始 ボタンをクリックしてください。
録音開始 ボタンが、一時停止 ボタンに変わります。
L、Rのバーが動き、パソコンで再生されている音を録音しています。

録音を途中で止めたい場合は、一時停止 ボタンをクリックしてください。

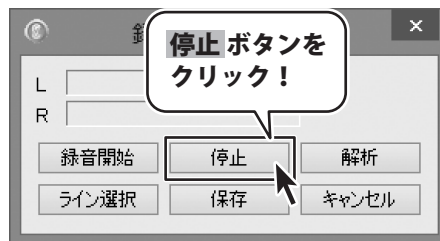
録音が終わりましたら、停止 ボタンをクリックしてください。



録音を途中で止めたい時



録音が終わったら

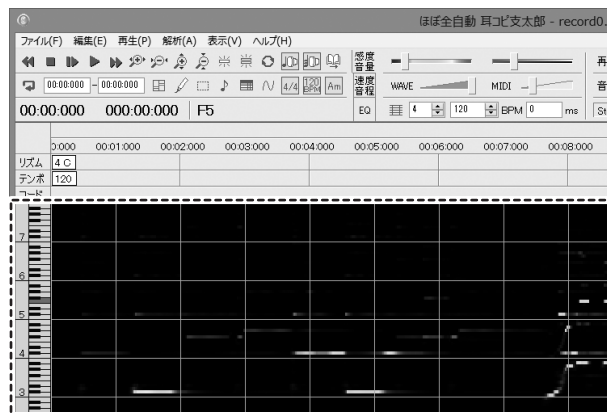
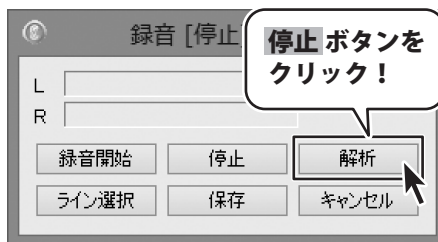


5

録音した音声を解析グラフで表示します

録音画面の解析ボタンをクリックすると、解析画面が表示されますので、各項目を設定し、解析ボタンをクリックしてください。

音声の解析が始まり、解析グラフが表示されます。



録音した音声が解析されました

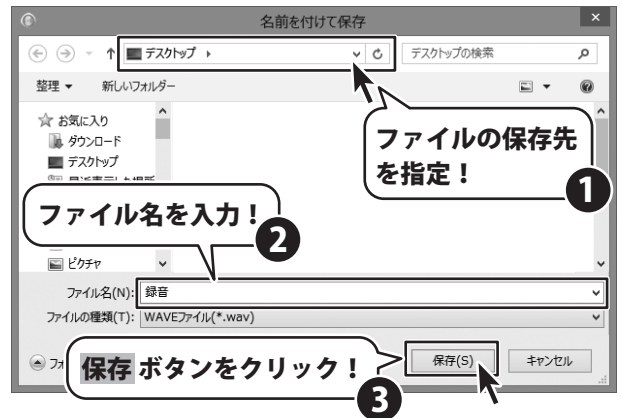
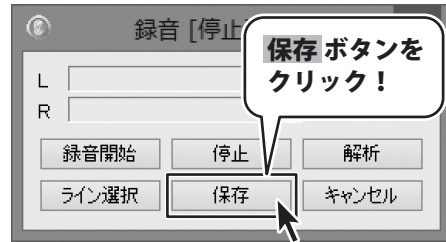
6

録音した音声を保存する場合

録音した音声をファイルで保存したい場合は、**保存** ボタンをクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されますので、保存先を指定し、ファイル名を入力して **保存** ボタンをクリックします。

録音した音声は、Wave ファイルで保存されます。
(拡張子 .wav)



Waveファイルが保存されました

その他の機能・操作説明

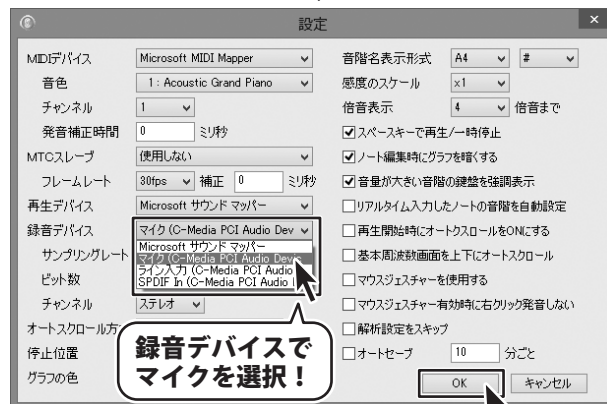
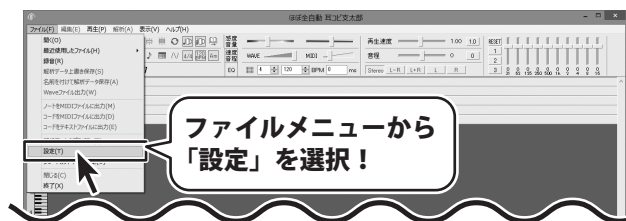
マイク機能で音声を録音する

※パソコンの録音デバイスを設定します。(54~55ページ)

1 ソフトの録音デバイスを設定します

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を起動し、
「ファイル」メニューから「設定」を選択して
設定画面を表示します。

「録音デバイス」の項目で、▼をクリックして
マイクのデバイスを選択しましたら、
OK ボタンをクリックしてください。



OK ボタンをクリック!

2

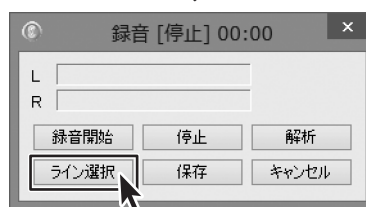
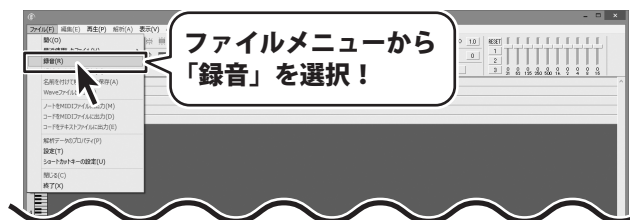
録音設定をします

「ファイル」メニューの「録音」を選択して録音画面を表示します。

録音画面の **ライン選択** ボタンをクリックすると、サウンド画面の [録音] タブが表示されます。

使用するデバイスを選択して、**プロパティ** ボタンをクリックしてください。

※WindowsXP では、録音コントロール画面が表示されます。



その他の機能・操作説明

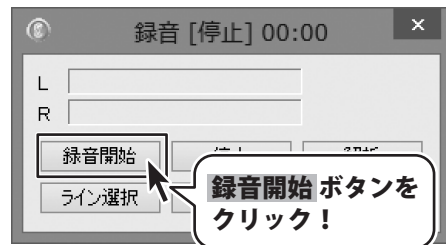
「レベル」タブを表示し、音量を設定します。
ゼロになっていると、録音できません。
音量の設定にご注意ください。
設定ができましたら、OK ボタンをクリックしてください。



3 録音を開始します

設定が終わりましたら、録音を開始します。
歌ったり、演奏したデータを録音します。

録音が終わりましたら、58～59 ページと同様に、データを解析、または、Wave ファイルに保存します。



音楽変換ツールでWaveファイルに変換する

付属ソフトの「音楽変換ツール」で、動画ファイル(**FLV、MPEG1、MOV、MP4**)と音楽ファイル(**MP3、M4A、AAC**)を Wave ファイルに変換します。「音楽変換ツール」の起動方法は 8～9 ページをご覧ください。

1 変換するファイルを設定します

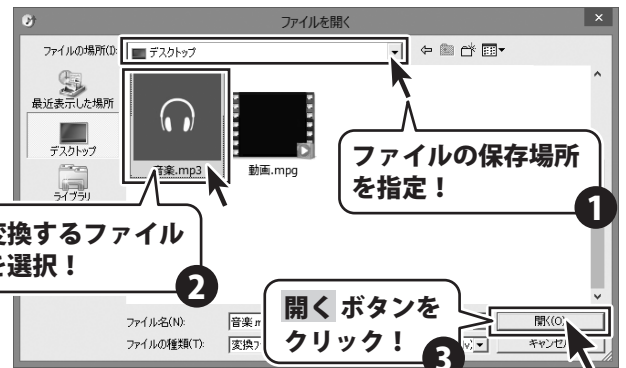
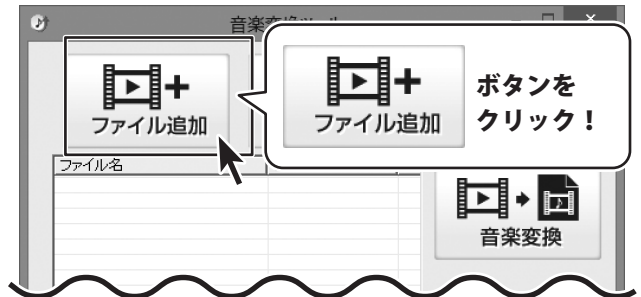


ファイル追加

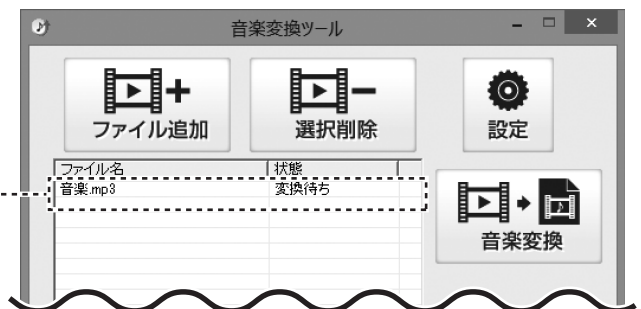
ボタンをクリックして、ファイルを開く画面を表示します。

ファイルの保存場所を指定し、変換する動画ファイルを選択して、開く ボタンをクリックします。

ソフトに読み込むことのできるファイルの種類は、**FLV、MPEG1、MOV、MP4、MP3、M4A、AAC**です。



変換リストに追加されました



2

変換後のファイルの保存先を設定します



設定

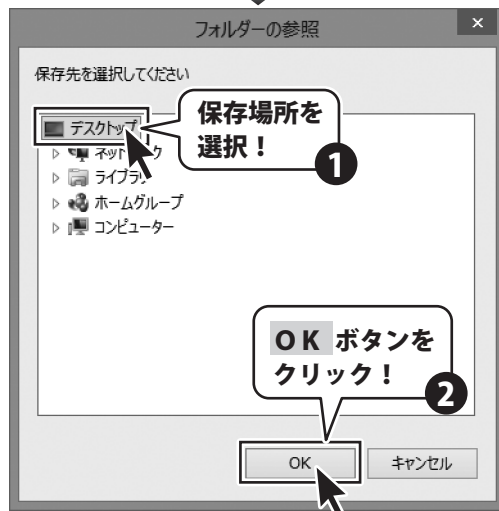
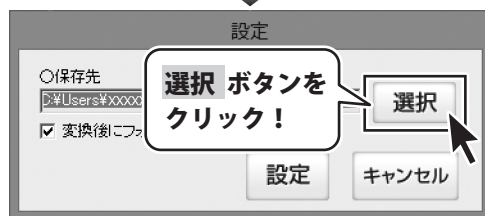
ボタンをクリックして、
変換後のファイルの保存先を設定します。

設定画面が表示されますので、
選択 ボタンをクリックします。

フォルダーの参照画面が表示されますので
ファイルの保存先を指定して、**OK** ボタンを
クリックします。

設定が終わりましたら、**設定** ボタンを
クリックします。

[変換後に保存先を開く]にチェックを入ると、
変換終了後に保存先のフォルダーが
表示されます。



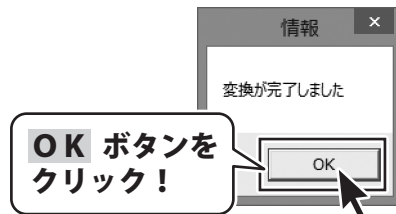
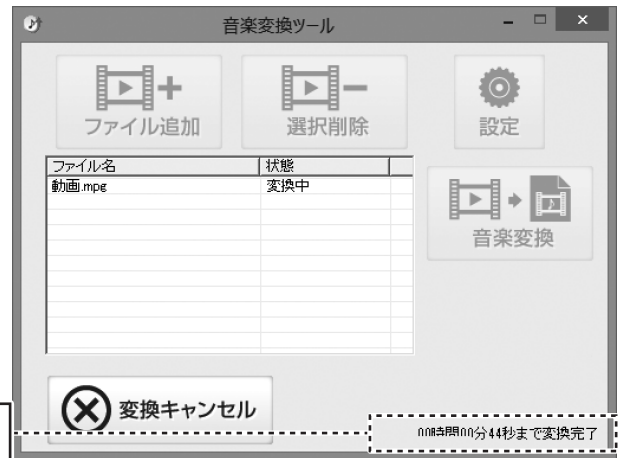
3 ファイルを変換します



音楽変換

ボタンをクリックすると、ファイルの変換が始まります。

[変換が完了しました]という画面が表示されましたら、OKボタンをクリックします。



その他の機能・操作説明(リッピングツール)

リッピングツールでCDの音楽をパソコンに保存する

付属ソフトの「リッピングツール」で、CDの音楽をWaveファイルに変換します。「リッピングツール」の起動方法は8～9ページをご覧ください。

パソコンのCDドライブにCDを挿入します。

CDを挿入したら、[変換リスト]にCD内のトラックが表示されますので、変換するトラックをクリックして、選択します。

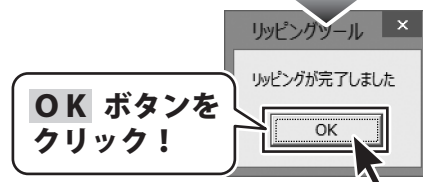
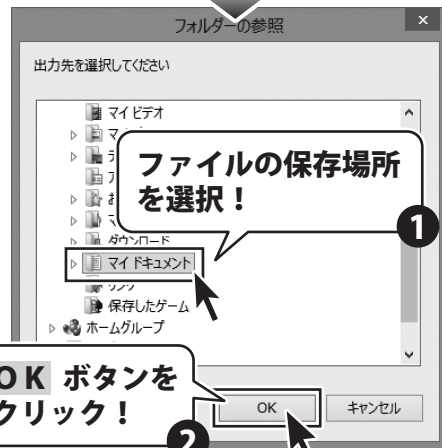
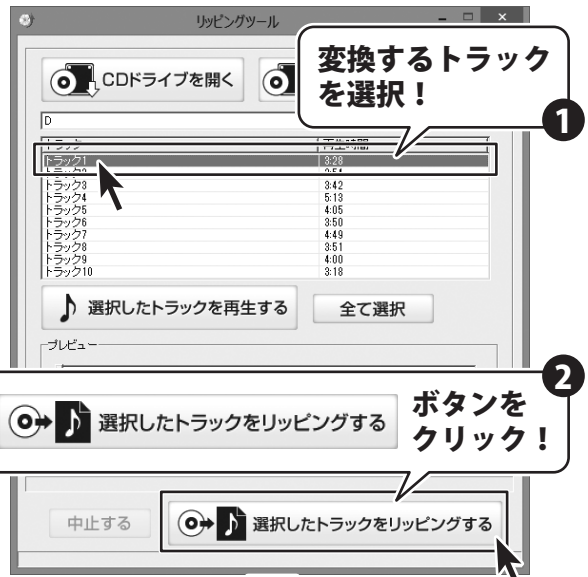
変換するトラックを選択し終わりましたら、

 **選択したトラックをリッピングする** ボタンをクリックします。

フォルダーの参照画面が表示されますので、変換したファイルを保存する場所を選択して、**OK** ボタンをクリックします。

[リッピングが完了しました]という画面が表示されましたら、変換したファイルが設定した場所に保存されています。

OK ボタンをクリックして、リッピングツール メイン画面に戻ります。



ソフトウェアをダウンロードする

「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を購入し、ユーザー登録をしていただいたお客様には、弊社ホームページから「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」を5回までダウンロードすることができます。ネットブックご利用のお客様、CD、DVDドライブがないパソコンをご利用のお客様はソフトウェアをダウンロードしてお使いいただくことができます。

- ユーザー登録時のメールアドレスが必要です。
- 製品のシリアルナンバーをご用意ください。

※ダウンロードとはお客様のパソコンに外部のファイルが保存されることをいいます。
※ユーザー登録がお済みでない場合には、弊社ホームページからユーザー登録を行ってください。
※本サービスは、サービスの一部または全てを終了することがあります。
これによりユーザーおよび第三者に損害が生じた場合、理由の如何を問わず一切の責任を負わないものとします。

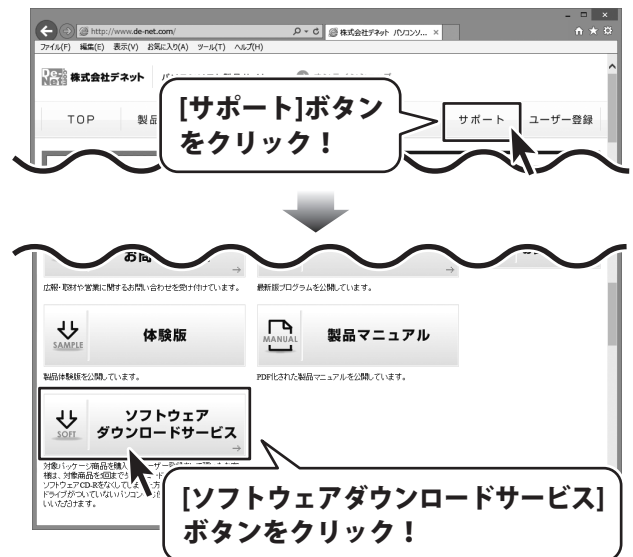
1 弊社のホームページを表示します

お使いのブラウザを起動して、アドレス欄に弊社ホームページのURL
http://www.de-net.com/
を入力します。(ここでは、Internet Explorerを例に説明します)



2 「ソフトウェアダウンロードサービス」ページを表示します

弊社のホームページが表示されましたら、[サポート]ボタンをクリックし、表示されるページの[ソフトウェアダウンロードサービス]ボタンをクリックしてください。

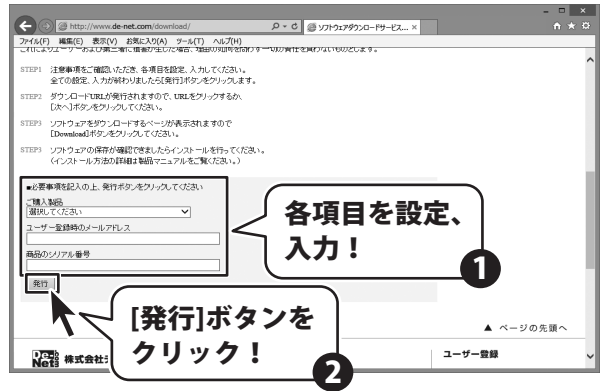


ソフトウェアをダウンロードする

3

「ソフトウェアダウンロードサービス」ページ内の各項目を設定、入力します

ソフトウェアダウンロードサービスページが表示されましたら、注意事項を確認し、各項目を設定、入力してください。すべての設定、入力が終わりましたら、[発行]ボタンをクリックします。

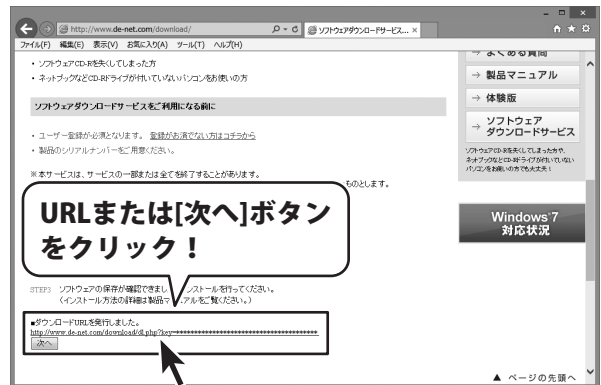


4

ファイルをダウンロードします

ダウンロードURLが発行されますので、URLをクリックするか、[次へ]ボタンをクリックしてください。

ソフトウェアをダウンロードするページが表示されますので、[Download]ボタンをクリックしてください。



ソフトウェアをダウンロードする

ファイルのダウンロード画面が表示されましたら、
[保存]ボタンの▼をクリックします。

名前を付けて保存画面が表示されますので、
ソフトウェアの保存場所を選択して、
[保存]ボタンをクリックしてください。

[setup.exeはダウンロードしたユーザー数が少ないため、PCに問題を起こす可能性があります。]
という画面が表示されましたら、
[実行]ボタンをクリックします。

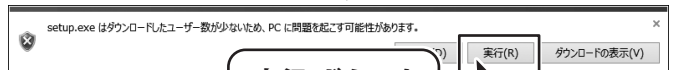
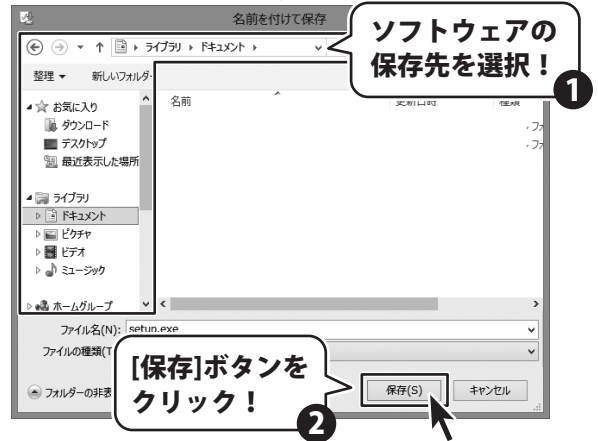
[Windows]によってPCが保護されました
という画面が表示されましたら、
[詳細情報]をクリックします。

詳細情報が表示されますので、
内容を確認し、[実行]ボタンをクリック
します。

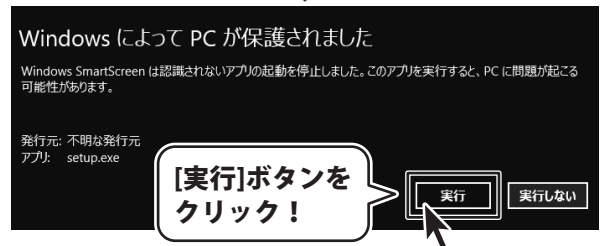
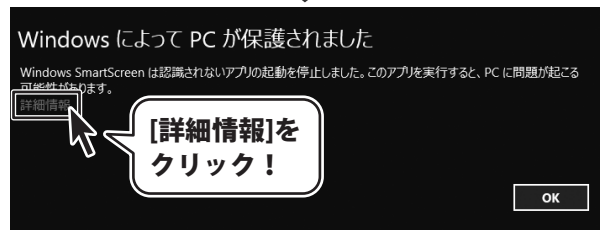
設定した場所にソフトウェアが保存され、
インストールがはじまりますので、
必要に応じてインストールを行って
ください。



[保存]ボタンの▼をクリックして、
[名前を付けて保存]をクリック!



[実行]ボタンを
クリック!



お問い合わせ窓口

お問い合わせについて

FAX及びe-mailでのお問い合わせの際には、『ご連絡先を正確に明記』の上、サポートまでお送りくださいますようよろしくお願い申し上げます。

お客様よりいただいたお問い合わせに返信できないことがあります。

問い合わせを行っているのにも関わらず、サポートからの返信がない場合、弊社ユーザーサポートまでご連絡が届いていない状態や、返信先が不明(正しくない)場合が考えられますので、宛先(FAX・メール)の確認をお願いいたします。

弊社ホームページ上からサポート宛にメールを送ることも可能です。

直接メール・FAX・お電話等でご連絡の場合、下記項目を事前にご確認の上お伝えください。

○ソフトのタイトル・バージョン

例：「ほぼ全自動 耳コピ支太郎」

○ソフトのシリアルナンバー

※本紙の表紙に貼付されています。

○ソフトをお使いになられているパソコンの環境

・OS及びバージョン

例：Windows 8 64bit

Windows Updateでの最終更新日〇〇年〇月〇日

・ブラウザのバージョン

例：Internet Explorer 10

・パソコンの仕様

例：NEC XXXX-XXX-XX / Pentium III 1GHz /

HDD 500GB / Memory 2GB

○お問い合わせ内容

例：～の操作を行ったら、～というメッセージがでてソフトが動かなくなった

□□□部分の操作について教えてほしい…etc

○お名前

○ご連絡先(正確にお願いいたします)

メールアドレス等送る前に再確認をお願いいたします。

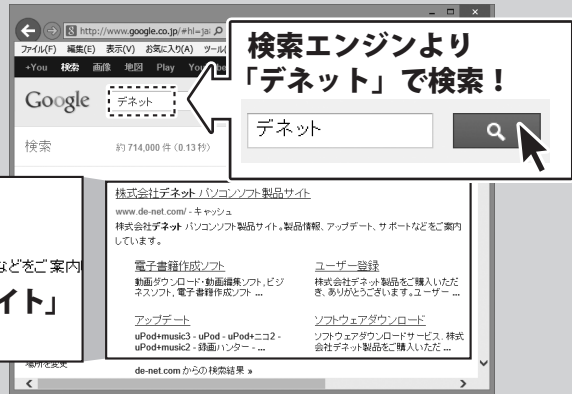
※お客様のメールサーバーのドメイン拒否設定により、弊社からのメールが受信されない場合があります。

お問い合わせ先 (次のページ) →

お問い合わせ窓口

ホームページからのお問い合わせ

[弊社ホームページ]
<http://www.de-net.com/>



[株式会社デネット パソコンソフト製品サイト](http://www.de-net.com/)

www.de-net.com/ - キャッシュ

株式会社デネット パソコンソフト製品サイト。製品情報、アップデート、サポートなどをご案内

**「株式会社デネット パソコンソフト製品サイト」
をクリック！**

[サポートページ]

<http://www.de-net.com/support.htm>

ソフトウェアの最新情報やよくあるご質問などを公開しています。

アップデート情報より、最新版のソフトウェアをダウンロードしてお使いいただけます。

[問い合わせページ]

<http://www.de-net.com/contact/>

弊社ホームページのお問い合わせフォームにご記入いただき、メールを送信してください。

メールでのお問い合わせ

E-mail : ask99pc@de-net.com

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

お電話・FAXでのお問い合わせ

Tel : 048-669-9099 Fax : 048-669-9111

サポート時間：10:00～17:30（土・日、祭日を除く）

※通信料はお客様負担となります。

※パソコン本体の操作方法やその他専門知識に関するお問い合わせにはお答えできない場合があります。
※お客様のご都合による返品はできません。
※お問い合わせ内容によっては返答までにお時間をいただくこともあります。

株式会社デネット